

都城市地域福祉に関するアンケート

調査結果

令和6年3月

都 城 市

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の設計	2
3 回収の結果	2
4 報告書の見方	2
第2章 調査結果	3
1 はじめに、あなた自身についてお尋ねします。	4
2 地域での暮らしについて	10
3 地域活動について	21
4 ひきこもりについて	26
5 災害時について	28
6 福祉サービスについて	30
7 最後に	35
第3章 調査票	37
調査票	38

第1章 調査の概要

1 調査の目的

市民の地域福祉に関する意識や生活課題を把握することによって、今後の地域福祉推進の参考にするとともに、「第4期都城市地域福祉計画」策定の基礎資料とするため。

2 調査の設計

- 調査地域 都城市全域
- 調査対象 市内在住の18歳以上の男女
- 標本数 3,000人
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送による配布・回収
- 調査期間 令和6年1月16日～令和6年2月9日

3 回収の結果

	件数	割合
配付数	3,000通	—
回収数	1,118通	37.3%

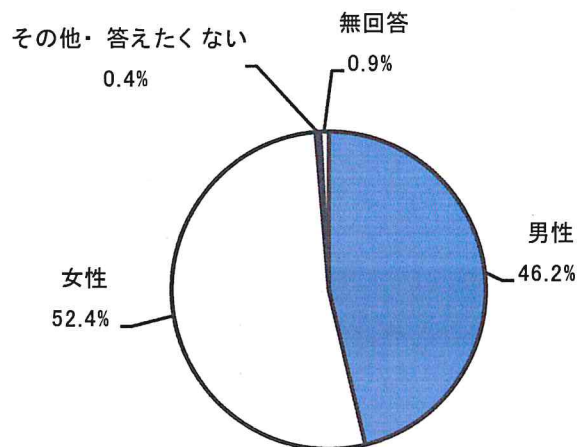
4 報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数（計）を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記している。
- 表・グラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

第2章 調査結果

1 はじめに、あなた自身についてお尋ねします。

問1 あなたの性別を教えてください。



計: 1,118人

- あなたの性別を教えてくださいとたずねたところ、「女性」と回答した人の割合は 52.4%となっています。一方、「男性」と回答した人の割合は 46.2%となっています。

問2 あなたの年齢を教えてください。

		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	無回答
性別	全体(計:1118人)	1.6	6.9	10.9	11.7	15.6	17.7	19.1	16.1	0.4
	男性(計:517人)	0.8	5.0	7.4	11.6	14.5	19.1	22.2	19.3	0.0
	女性(計:586人)	2.4	8.2	14.2	11.9	16.7	16.7	16.6	13.3	0.0
	その他・答えたくない(計:5人)	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
地区7区分	姫城・中郷地区(計:140人)	1.4	4.3	8.6	12.9	17.9	16.4	20.7	17.9	0.0
	妻ヶ丘・小松原地区(計:199人)	0.5	8.0	12.6	11.1	19.6	18.1	16.6	13.1	0.5
	五十市・横市地区(計:258人)	1.6	7.4	12.4	13.6	12.8	17.8	18.2	15.9	0.4
	祝吉・沖水地区(計:233人)	2.6	12.0	15.0	12.4	17.2	15.5	15.0	9.9	0.4
	志和池・庄内・西岳地区(計:87人)	1.1	2.3	5.7	13.8	18.4	17.2	20.7	20.7	0.0
	山之口・高城地区(計:85人)	3.5	4.7	7.1	9.4	10.6	20.0	18.8	24.7	1.2
	山田・高崎地区(計:107人)	0.9	1.9	4.7	6.5	11.2	21.5	30.8	21.5	0.9

●あなたの年齢を教えてくださいとたずねたところ、「70代」と回答した人の割合が最も高く、19.1%

となっています。次いで、「60代」(17.7%)、「80歳以上」(16.1%)と続いています。

問3 あなたの家族構成を教えてください。

		ら 単 し 身 〜 (ひとり 世 帯 暮	夫 婦 の みの 世 帯	世 親 帯 子 2 世 代 同 居	居 親 世 子 帯 孫 3 世 代 同	そ の 他	無 回 答
性別	全体(計:1118人)	26.5	31.0	34.5	3.4	3.8	0.8
	男性(計:517人)	16.8	46.4	30.8	2.7	2.9	0.4
	女性(計:586人)	35.0	18.1	38.1	3.9	4.6	0.3
	その他・答えたくない(計:5人)	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0
年齢	29歳以下(計:95人)	35.8	13.7	42.1	5.3	3.2	0.0
	30代(計:122人)	11.5	15.6	68.0	2.5	2.5	0.0
	40代(計:131人)	12.2	13.7	67.9	4.6	1.5	0.0
	50代(計:174人)	24.1	33.9	33.9	2.3	5.2	0.6
	60代(計:198人)	26.3	42.4	24.2	2.5	4.0	0.5
	70代(計:213人)	31.9	42.3	16.0	4.7	4.7	0.5
	80歳以上(計:180人)	38.9	35.6	18.3	2.8	3.9	0.6
地区7 区分	姫城・中郷地区(計:140人)	30.0	30.7	30.0	5.7	2.9	0.7
	妻ヶ丘・小松原地区(計:199人)	27.1	29.6	36.2	2.5	4.0	0.5
	五十市・横市地区(計:258人)	19.4	31.8	37.6	3.5	7.4	0.4
	祝吉・沖水地区(計:233人)	29.2	32.6	34.3	1.7	1.7	0.4
	志和池・庄内・西岳地区(計:87人)	29.9	27.6	35.6	3.4	3.4	0.0
	山之口・高城地区(計:85人)	34.1	27.1	31.8	3.5	1.2	2.4
	山田・高崎地区(計:107人)	24.3	33.6	31.8	5.6	2.8	1.9

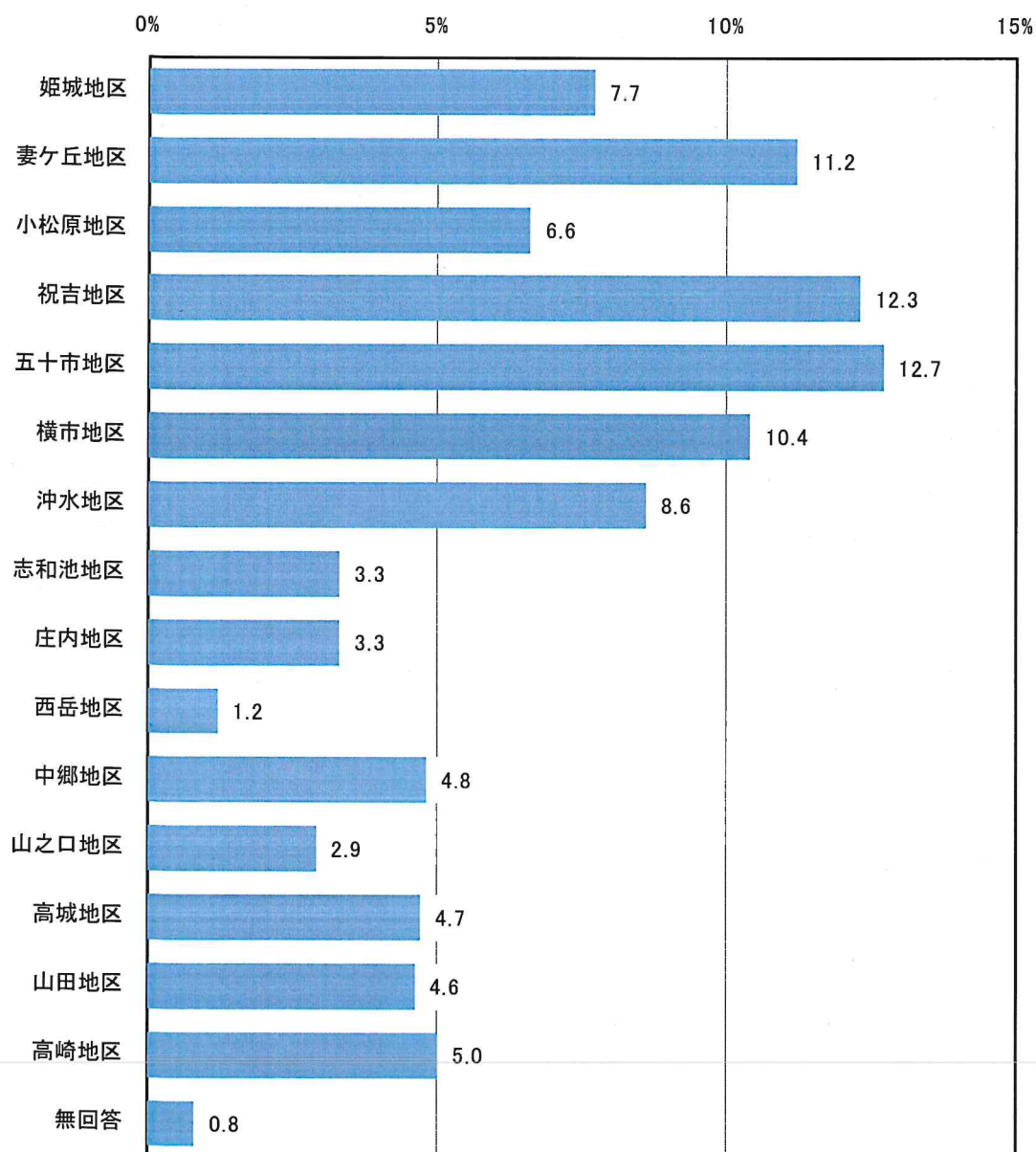
- あなたの家族構成を教えてくださいとたずねたところ、「親子2世代同居世帯」と回答した人の割合が最も高く、34.5%となっています。次いで、「夫婦のみの世帯」(31.0%)、「単身(ひとり暮らし)世帯」(26.5%)と続いています。
- 30代、40代は「親子2世代同居世帯」と回答した人の割合が比較的高く、60代、70代は「夫婦のみの世帯」と回答した人の割合が高くなる傾向にあります。

問4 あなたの職業を教えてください。

		家族従事者・その他	自営業主・その他	公務員・教員	含む に勤務 （役員を 含む）	民間企業・団体	パート・アルバイト	家庭で内職	学生	家事専業	無職（学生・家事専業を除く）	その他	無回答
性別	全体(計:1118人)	9.7	6.7	26.6	12.6	0.4	1.3	8.6	28.4	4.0	1.7		
	男性(計:517人)	13.0	8.3	31.9	4.1	0.0	0.4	1.7	35.2	4.6	0.8		
	女性(計:586人)	6.7	5.3	22.2	20.1	0.7	2.2	14.7	22.9	3.6	1.7		
	その他・答えたくない(計:5人)	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
年齢	29歳以下(計:95人)	3.2	18.9	43.2	3.2	0.0	15.8	4.2	8.4	3.2	0.0		
	30代(計:122人)	8.2	12.3	49.2	16.4	1.6	0.0	4.1	3.3	4.9	0.0		
	40代(計:131人)	15.3	9.2	46.6	18.3	0.0	0.0	4.6	3.8	2.3	0.0		
	50代(計:174人)	10.3	12.1	43.7	19.0	0.0	0.0	5.7	4.6	4.6	0.0		
	60代(計:198人)	7.6	4.0	25.3	19.2	0.0	0.0	10.6	27.8	3.5	2.0		
	70代(計:213人)	11.3	0.5	3.8	10.8	0.9	0.0	12.2	54.9	3.8	1.9		
地区7区分	80歳以上(計:180人)	10.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	13.3	67.2	5.6	3.3		
	姫城・中郷地区(計:140人)	14.3	6.4	26.4	9.3	0.0	0.7	11.4	26.4	2.1	2.9		
	妻ヶ丘・小松原地区(計:199人)	7.5	8.0	28.1	14.1	0.5	0.5	8.5	27.6	2.0	3.0		
	五十市・横市地区(計:258人)	7.8	8.1	28.3	14.0	0.4	1.6	3.5	31.0	5.0	0.4		
	祝吉・沖水地区(計:233人)	8.2	8.6	29.6	12.0	0.4	2.1	11.2	22.7	3.9	1.3		
	志和池・庄内・西岳地区(計:87人)	11.5	1.1	24.1	12.6	1.1	0.0	8.0	29.9	11.5	0.0		
	山之口・高城地区(計:85人)	8.2	3.5	22.4	11.8	0.0	2.4	12.9	35.3	2.4	1.2		
	山田・高崎地区(計:107人)	15.9	3.7	19.6	14.0	0.0	1.9	8.4	30.8	2.8	2.8		

●あなたの職業を教えてくださいとたずねたところ、「無職（学生・家事専業を除く）」と回答した人の割合が最も高く、28.4%となっています。次いで、「民間企業・団体に勤務（役員を含む）」（26.6%）、「パート・アルバイト」（12.6%）と続いています。「無職（学生・家事専業を除く）」と回答した人の割合が高いのは、調査対象者に定年等で退職された方が多いためであり、比較的若い世代は「民間企業・団体に勤務（役員を含む）」と回答した人の割合が高くなっています。

問5 あなたのお住まいの地区はどちらですか。



計: 1,118人

- あなたのお住まいの地区はどちらですかとたずねたところ、「五十市地区」と回答した人の割合が最も高く、12.7%となっています。次いで、「祝吉地区」(12.3%)、「妻ヶ丘地区」(11.2%)と続いています。

問6 「問5」でお答えいただいた地区の居住歴を教えてください。

		3 年 未 満	満 3 年 以 上 5 年 未 満	未 満 5 年 以 上 1 0 年	年 未 満 1 0 年 以 上 2 0	年 未 満 2 0 年 以 上 3 0	3 0 年 以 上	わ か ら な い	無 回 答
性別	全体(計:1118人)	11.5	5.7	10.1	15.7	12.5	40.7	0.4	3.3
	男性(計:517人)	8.3	4.1	7.9	14.5	12.8	48.0	0.4	4.1
	女性(計:586人)	14.5	7.3	12.1	16.9	12.3	33.6	0.5	2.7
	その他・答えたくない(計:5人)	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0
年齢	29歳以下(計:95人)	53.7	10.5	8.4	11.6	10.5	1.1	1.1	3.2
	30代(計:122人)	28.7	14.8	29.5	13.1	4.1	6.6	0.0	3.3
	40代(計:131人)	7.6	9.9	22.1	32.8	7.6	17.6	0.0	2.3
	50代(計:174人)	8.0	2.3	8.0	27.6	24.1	24.1	1.7	4.0
	60代(計:198人)	6.1	4.5	6.6	11.1	19.2	48.0	0.0	4.5
	70代(計:213人)	2.3	3.3	4.7	13.1	10.3	62.9	0.0	3.3
	80歳以上(計:180人)	1.1	1.7	1.7	3.9	7.2	81.7	0.6	2.2
地区7 区分	姫城・中郷地区(計:140人)	5.0	6.4	13.6	16.4	10.7	42.9	0.0	5.0
	妻ヶ丘・小松原地区(計:199人)	10.6	6.5	12.1	17.1	15.6	34.2	1.0	3.0
	五十市・横市地区(計:258人)	15.9	5.4	9.7	17.4	15.1	34.5	0.0	1.9
	祝吉・沖水地区(計:233人)	15.5	8.6	11.2	17.2	12.4	31.8	0.4	3.0
	志和池・庄内・西岳地区(計:87人)	8.0	4.6	4.6	12.6	8.0	57.5	1.1	3.4
	山之口・高城地区(計:85人)	10.6	1.2	8.2	14.1	8.2	54.1	0.0	3.5
	山田・高崎地区(計:107人)	6.5	1.9	7.5	9.3	10.3	62.6	0.9	0.9

- 「問5」でお答えいただいた地区の居住歴を教えてくださいとたずねたところ、「30年以上」と回答した人の割合が最も高く、40.7%となっています。次いで、「10年以上20年未満」(15.7%)、「20年以上30年未満」(12.5%)と続いています。

2 地域での暮らしについて

問7 あなたは日頃、ご近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。

		合した故たりすける	事(病つたり、どす助ける)	(困りや悩む、とき)	るかすん一	かするだ緒	けるあとり、お	すたまに立ち話を	をする	会えばあいさつ	ん付き合いはほと	その他	無回答
性別	全体(計1118人)		6.6		6.5		28.7		43.7		11.8	1.3	1.3
	男性(計517人)		6.6		4.6		30.8		44.7		10.1	1.7	1.5
	女性(計586人)		6.0		8.4		27.0		43.3		13.3	0.9	1.2
	その他・答えたくない(計5人)		0.0		0.0		20.0		60.0		20.0	0.0	0.0
年齢	29歳以下(計95人)		2.1		1.1		5.3		55.8		33.7	2.1	0.0
	30代(計122人)		2.5		0.8		19.7		59.0		16.4	0.0	1.6
	40代(計131人)		2.3		1.5		20.6		61.8		12.2	0.8	0.8
	50代(計174人)		2.3		1.1		31.6		50.6		12.6	1.1	0.6
	60代(計198人)		4.0		8.6		39.9		40.4		6.6	0.0	0.5
	70代(計213人)		10.3		10.8		38.0		31.5		5.6	2.8	0.9
	80歳以上(計180人)		16.1		15.0		27.2		26.7		8.9	1.7	4.4
地区7区分	姫城・中郷地区(計140人)		5.7		5.7		30.0		42.9		12.9	1.4	1.4
	妻ヶ丘・小松原地区(計199人)		4.5		6.0		27.1		48.7		10.6	1.0	2.0
	五十市・横市地区(計258人)		5.8		3.1		27.9		48.4		12.0	2.3	0.4
	祝吉・沖水地区(計233人)		4.3		4.3		29.6		44.6		15.9	1.3	0.0
	志和池・庄内・西岳地区(計87人)		13.8		11.5		29.9		31.0		12.6	0.0	1.1
	山之口・高城地区(計85人)		8.2		11.8		28.2		40.0		10.6	1.2	0.0
	山田・高崎地区(計107人)		12.1		13.1		30.8		37.4		4.7	0.0	1.9

●あなたは日頃、ご近所の方とどのようなお付き合いをしていますかとたずねたところ、「会えばあい

さつをする」と回答した人の割合が最も高く、43.7%となっています。次いで、「たまに立ち話をす

る」(28.7%)、「付き合いはほとんどない」(11.8%)と続いています。

●「付き合いはほとんどない」と回答した人は29歳以下が33.7%となっており、約3人に1人が近所

とのつきあいが無いことが分かります。近所の方と親密な関係を築いているのは比較的年齢階層が

高い世代ですが、その割合は60代以降に急増していることから、地域との関わりが増すのは仕事を

退職した後である可能性があります。

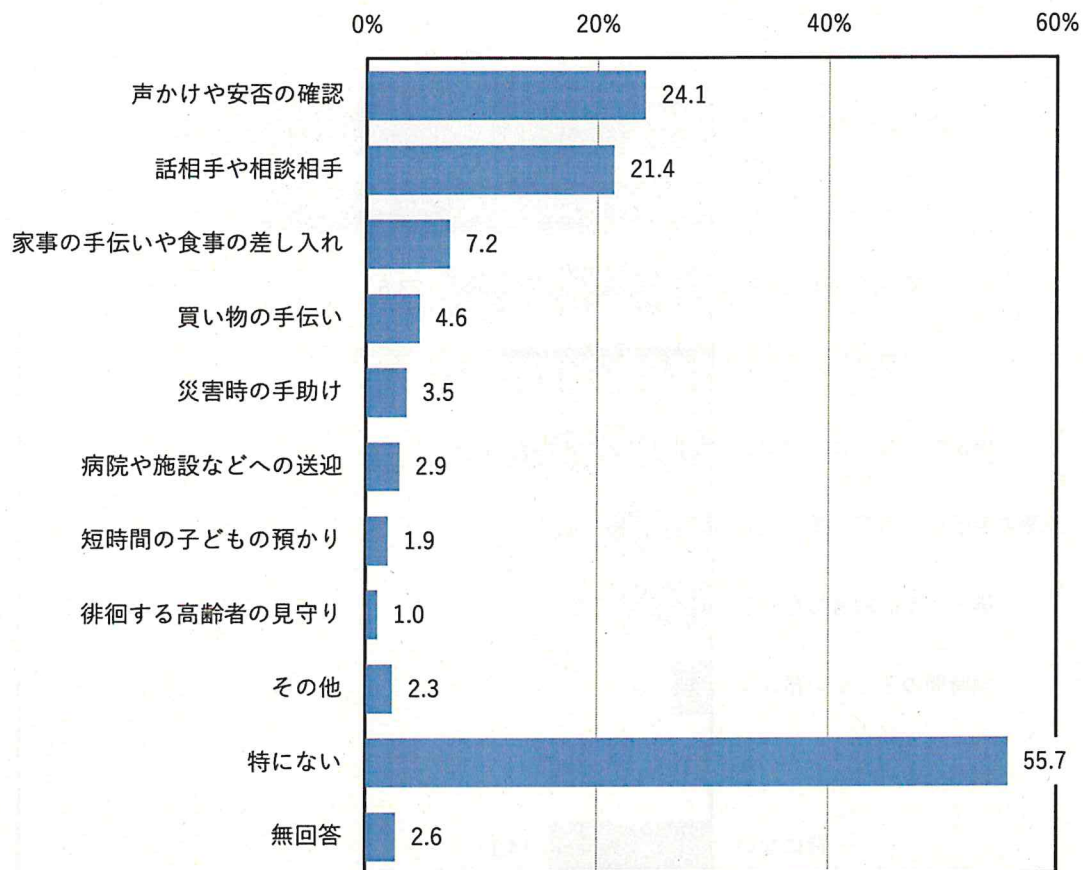
問8 あなたの近所づきあいの考え方は次のどれに近いですか。

		相 談 は 当 然 で あ る	便 利 な こ と が 多 い の で 必 要 で	わ ず ら わ し い と 感 じ る こ と	わ ず ら わ し い こ と が 多 い の	な く も 困 ら な い の で 必 要	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
性別	全体(計:1118人)	29.0	28.1	13.2	15.3	3.0	9.9	1.5	
	男性(計:517人)	30.4	31.5	12.2	12.6	2.5	8.9	1.9	
	女性(計:586人)	27.0	25.8	14.3	17.6	3.2	10.9	1.2	
	その他・答えたくない(計:5人)	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	
年齢	29歳以下(計:95人)	17.9	16.8	11.6	31.6	2.1	20.0	0.0	
	30代(計:122人)	18.0	24.6	13.9	29.5	2.5	10.7	0.8	
	40代(計:131人)	20.6	26.7	19.8	19.8	3.8	9.2	0.0	
	50代(計:174人)	21.8	25.9	20.1	13.2	2.9	14.9	1.1	
	60代(計:198人)	22.2	38.4	14.1	12.6	4.0	7.1	1.5	
	70代(計:213人)	35.2	34.7	9.4	8.9	2.8	7.0	1.9	
	80歳以上(計:180人)	53.9	21.1	6.1	6.1	2.2	6.7	3.9	
地区7区分	姫城・中郷地区(計:140人)	25.0	28.6	16.4	16.4	2.1	10.0	1.4	
	妻ヶ丘・小松原地区(計:199人)	28.1	24.6	16.1	16.1	3.5	10.1	1.5	
	五十市・横市地区(計:258人)	26.0	28.3	10.9	18.2	3.5	12.0	1.2	
	祝吉・沖水地区(計:233人)	22.7	27.9	15.9	19.3	2.6	11.2	0.4	
	志和池・庄内・西岳地区(計:37人)	34.5	32.2	10.3	10.3	3.4	9.2	0.0	
	山之口・高城地区(計:85人)	40.0	34.1	3.5	7.1	4.7	10.6	0.0	
	山田・高崎地区(計:107人)	43.9	28.0	15.0	7.5	0.9	1.9	2.8	

- あなたの近所づきあいの考え方は次のどれに近いですかとたずねたところ、「相談したり助け合ったりするのは当然である」と回答した人の割合が最も高く、29.0%となっています。次いで、「わずらわしいと感じることもあるが、日常生活の中で便利なことが多いので必要である」(28.1%)、「なくても困らないので必要ない」(15.3%)と続いています。
- 「なくても困らないので必要ない」との回答は、29歳以下では31.6%となっているものの、年齢階層が高くなるに従ってその割合は低下していることが分かります。また、「わずらわしいと感じるこ

ともあるが、日常生活の中で便利なことが多いので必要である」との回答割合は年齢階層が高くなるに従っておおむね増加傾向にあることが分かります。

問9 あなたは、近所の方にお手伝い（手助け）したことがありますか。したことがあるものを選んでください。



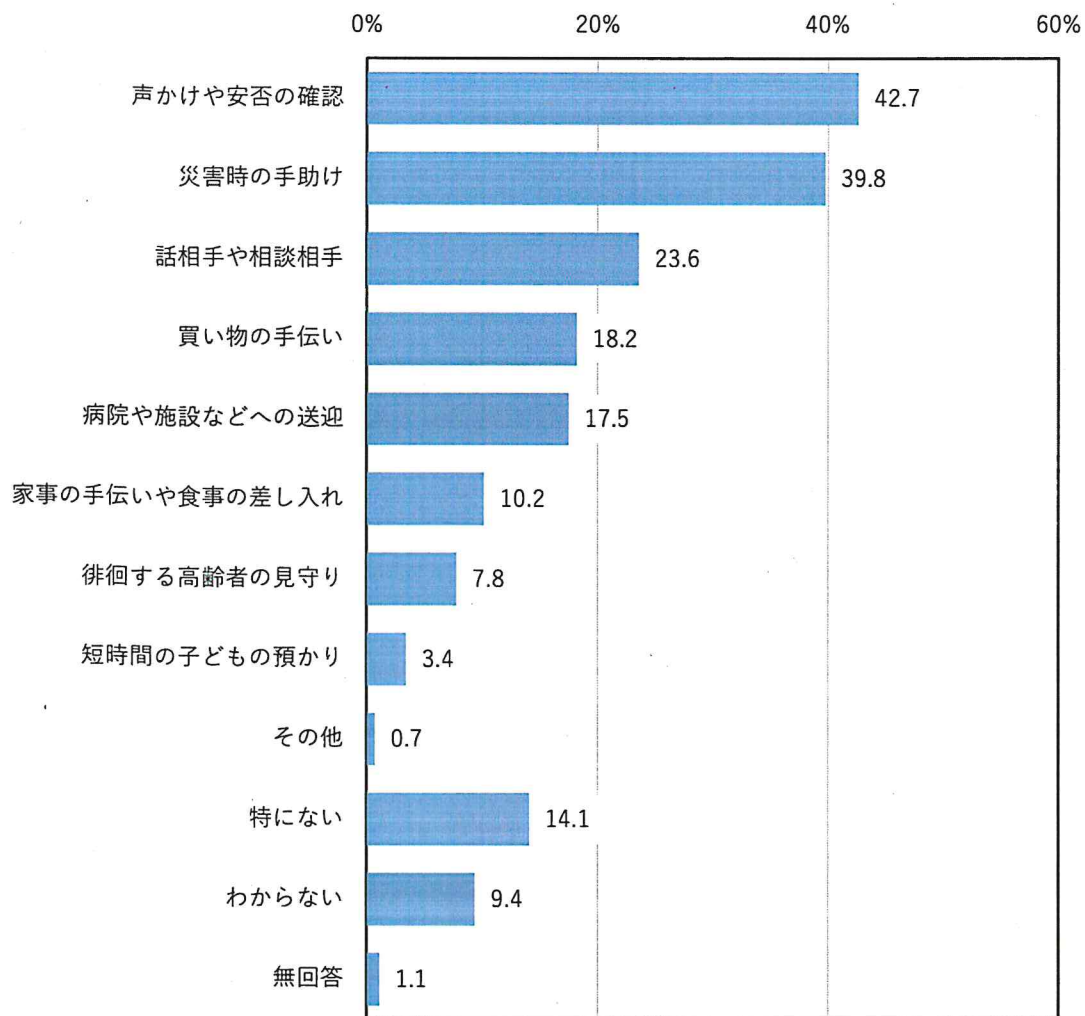
計：1,118人

●あなたは、近所の方にお手伝い（手助け）したことがありますか。したことがあるものを選んでくだ

さいとたずねたところ、「声かけや安否の確認」と回答した人が最も多く、24.1%となっています。

次いで、「話相手や相談相手」(21.4%)、「家事の手伝いや食事の差し入れ」(7.2%)と続いています。

問10 あなたやご家族が、日常生活で不自由になったときに地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか。



計：1,118人

- あなたやご家族が、日常生活で不自由になったときに地域でどのような手助けをしてほしいと思いますかとたずねたところ、「声かけや安否の確認」と回答した人が最も多く、42.7%となっています。次いで、「災害時の手助け」(39.8%)、「話相手や相談相手」(23.6%)と続いています。

問 1 1 近所で困り事を抱える人からの助けの求めがあったとき、どう対応したいと思いますか。

		た 積 い 極 的 に 対 応 し	し で た き い る だ け 対 応	き 対 れ 応 ば し 避 た け い た が い で	関 わ り た く な い	そ の 他	無 回 答
性別	全体(計:1118人)	15.6	64.0	11.8	2.8	3.0	2.9
	男性(計:517人)	17.0	64.6	9.9	3.1	2.5	2.9
	女性(計:586人)	14.2	63.8	13.5	2.6	3.4	2.6
	その他・答えたくない(計:5人)	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
年齢	29歳以下(計:95人)	13.7	70.5	9.5	3.2	1.1	2.1
	30代(計:122人)	19.7	58.2	18.9	1.6	0.0	1.6
	40代(計:131人)	16.0	61.8	16.0	2.3	3.8	0.0
	50代(計:174人)	10.3	68.4	12.6	3.4	3.4	1.7
	60代(計:198人)	11.6	71.7	9.1	3.5	2.5	1.5
	70代(計:213人)	20.7	57.3	10.8	2.8	4.2	4.2
	80歳以上(計:180人)	16.7	61.7	8.9	2.2	4.4	6.1
地区7区分	姫城・中郷地区(計:140人)	15.7	63.6	13.6	2.9	2.9	1.4
	妻ヶ丘・小松原地区(計:199人)	18.1	65.8	9.0	2.5	1.5	3.0
	五十市・横市地区(計:258人)	13.6	61.2	13.6	2.7	5.4	3.5
	祝吉・沖水地区(計:233人)	10.3	69.1	13.3	3.0	2.1	2.1
	志和池・庄内・西岳地区(計:87人)	18.4	58.6	14.9	2.3	2.3	3.4
	山之口・高城地区(計:85人)	17.6	68.2	4.7	2.4	4.7	2.4
	山田・高崎地区(計:107人)	20.6	60.7	10.3	3.7	1.9	2.8

●近所で困り事を抱える人からの助けの求めがあったとき、どう対応したいと思いますかとたずねたと

ころ、「できるだけ対応したい」と回答した人の割合が最も高く、64.0%となっています。次いで、

「積極的に対応したい」(15.6%)、「対応したいができれば避けたい」(11.8%)と続いています。

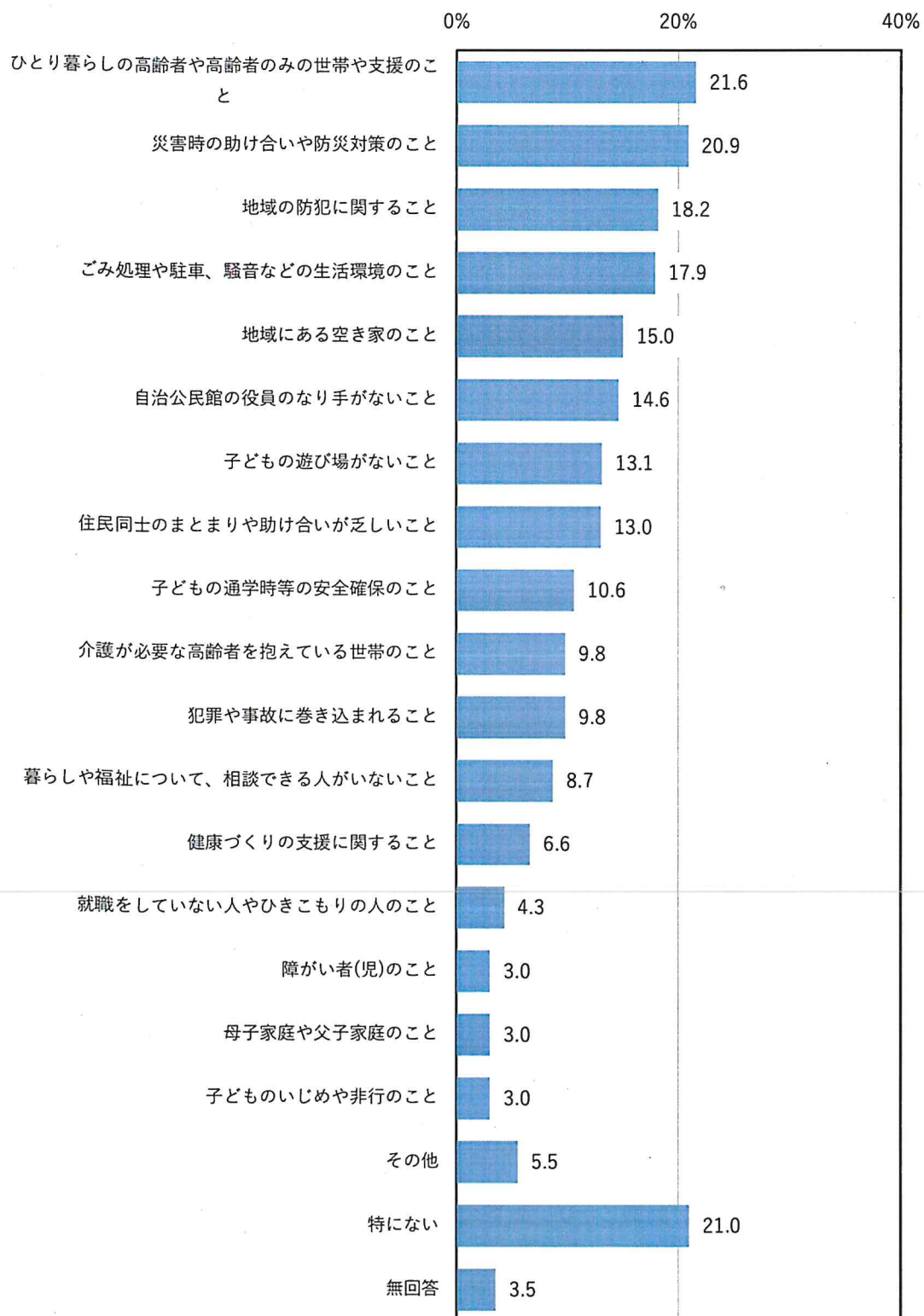
●29歳以下では、「できるだけ対応したい」と回答した人の割合は7割を超えています。この世代は近

所づきあいが「なくても困らないので必要ない」と回答した割合も高いものの、必要な時には手を

差し伸べたいとの意向を有しており、ことさら地域との関係を拒絶している訳ではないことがみて

とれます。

問12 あなたが住んでいる地域のことで気になっていると感じている問題は何ですか。

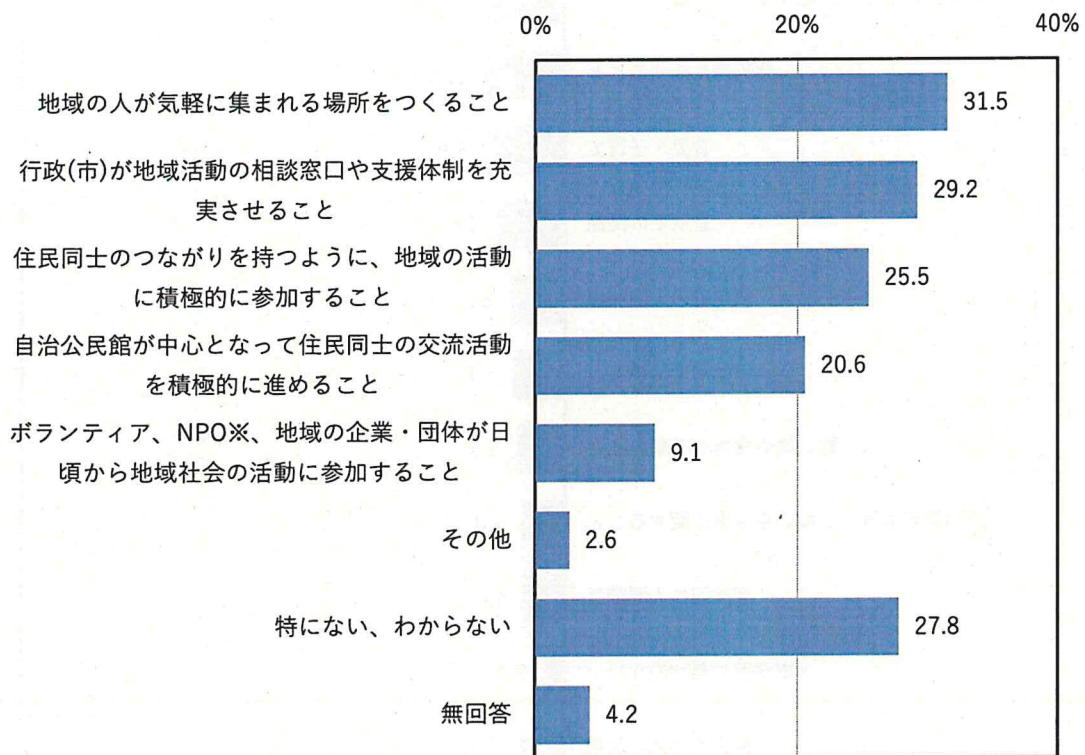


計：1,118人

●あなたが住んでいる地域のことで気になっていると感じている問題は何ですかとたずねたところ、

「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯や支援のこと」と回答した人が最も多く、21.6%となっています。次いで、「災害時の助け合いや防災対策のこと」(20.9%)、「地域の防犯に関すること」(18.2%)と続いています。

問13 地域社会の問題に対する、住民同士の協力のためにはどのようなことが必要と考えますか。

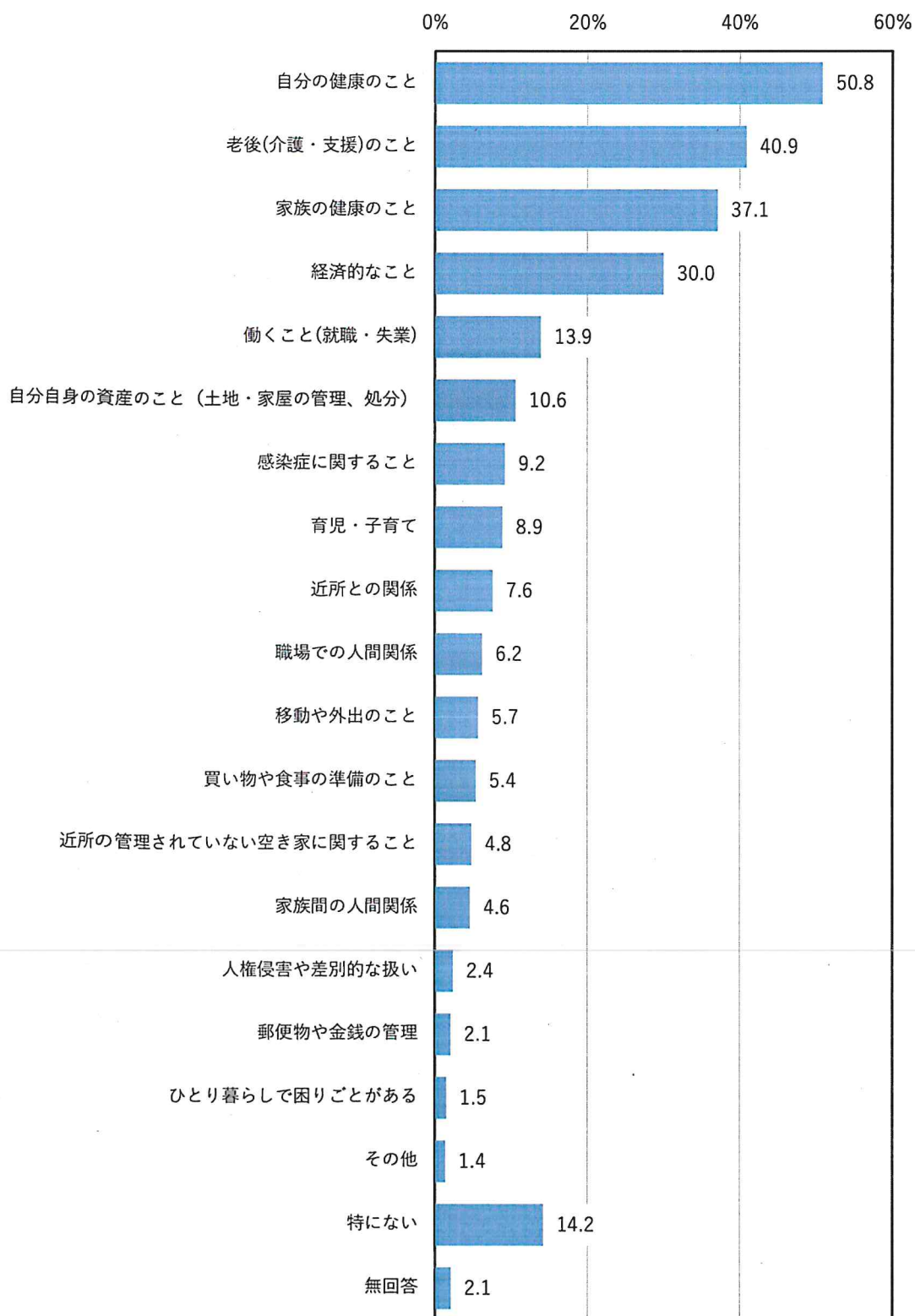


計：1,118人

●地域社会の問題に対する、住民同士の協力のためにはどのようなことが必要と考えますかとたずねた

ところ、「地域の人が気軽に集まれる場所をつくること」と回答した人が最も多く、31.5%となっています。次いで、「行政(市)が地域活動の相談窓口や支援体制を充実させること」(29.2%)、「住民同士のつながりを持つように、地域の活動に積極的に参加すること」(25.5%)と続いています。

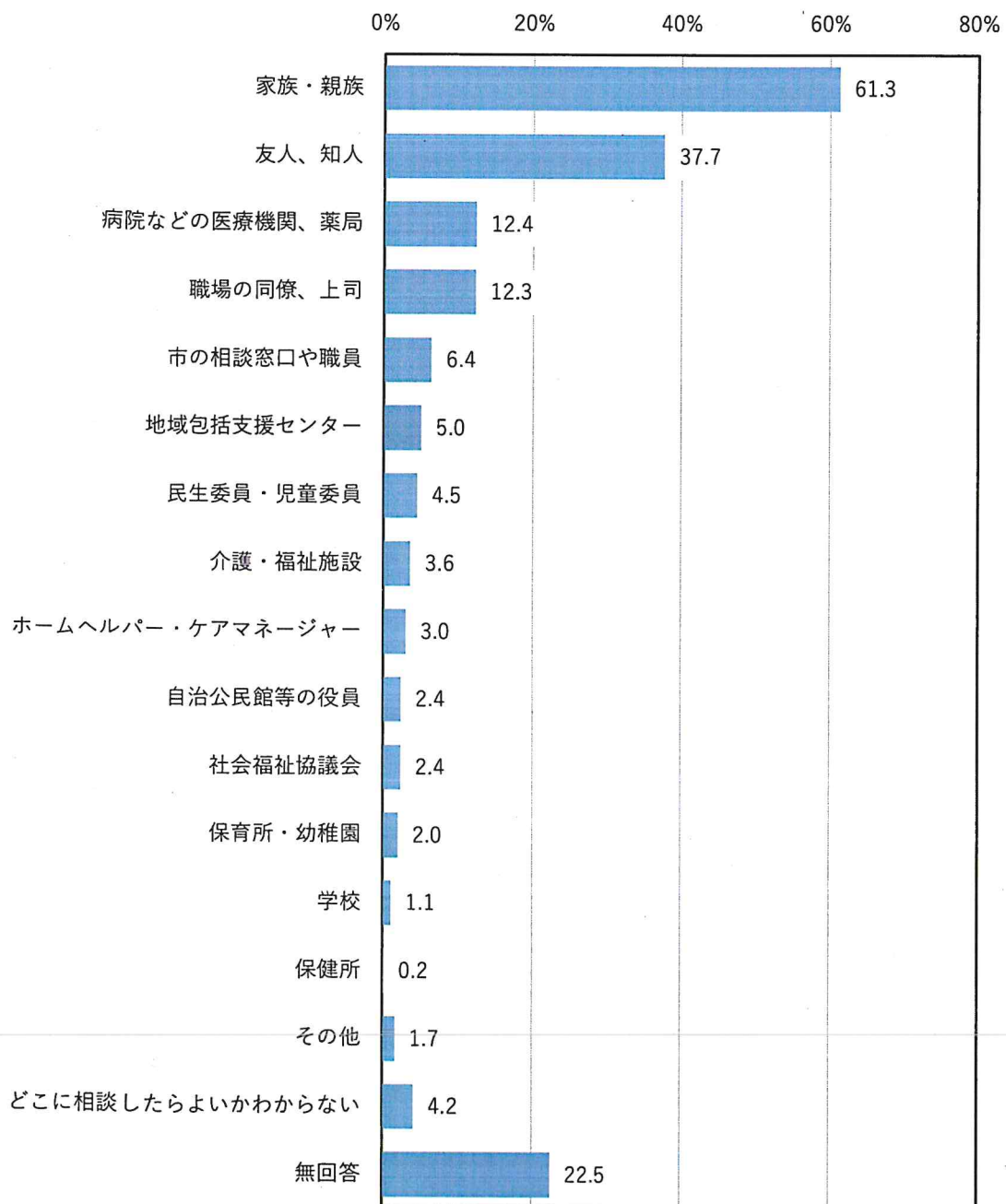
問14 毎日の暮らしの中でどのような悩みや不安を感じていますか。



計：1,118人

- 毎日の暮らしの中でどのような悩みや不安を感じていますとたずねたところ、「自分の健康のこと」と回答した人が最も多く、50.8%となっています。次いで、「老後(介護・支援)のこと」(40.9%)、「家族の健康のこと」(37.1%)と続いています。

問 15 (問 14 で「特にない」以外を選択した方におたずねします) 不安や悩みを誰に相談しますか。

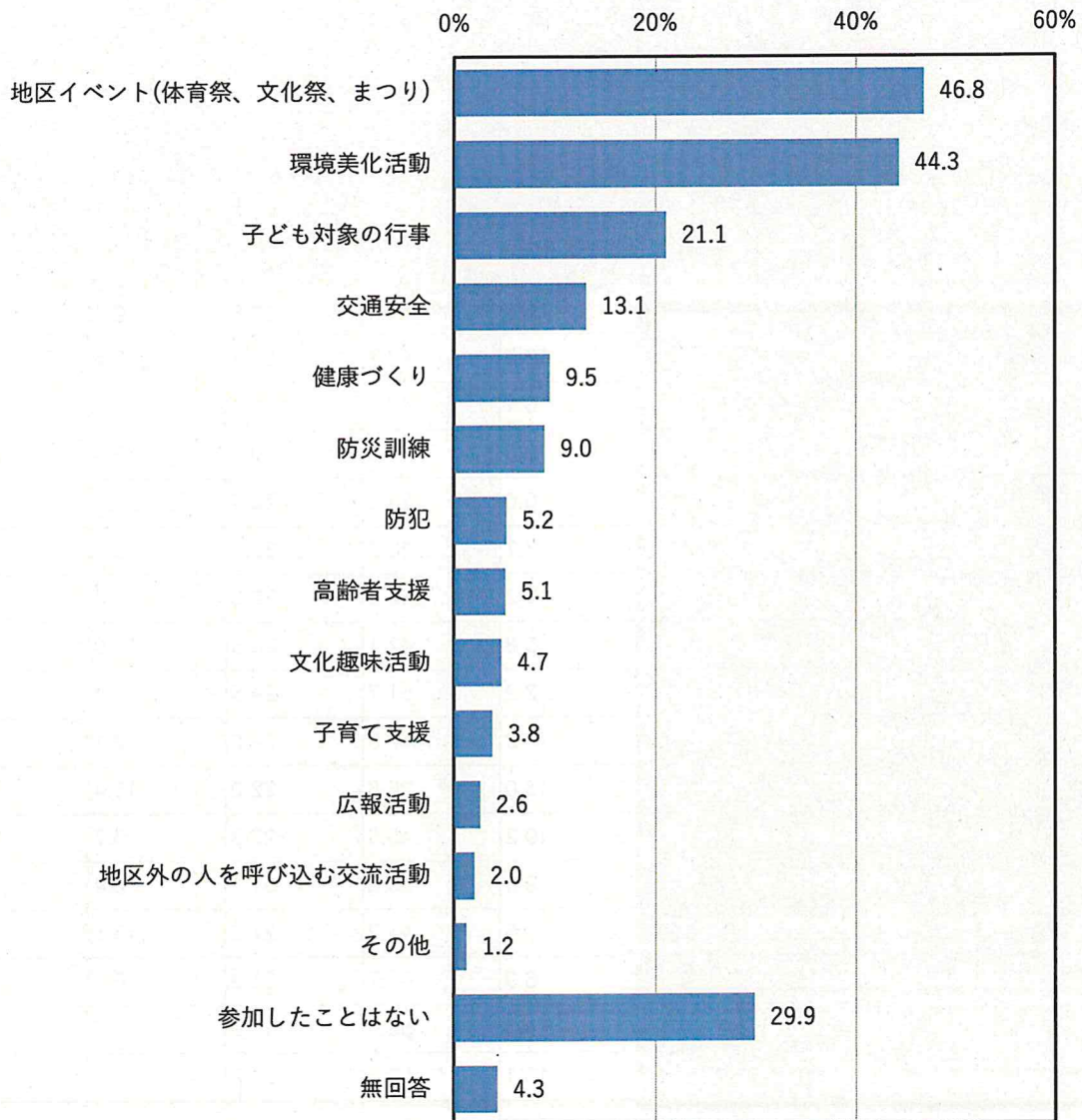


計：661人

- 問 14 で「特にない」以外を選択した方に、不安や悩みを誰に相談しますかとたずねたところ、「家族・親族」と回答した人が最も多く、61.3%となっています。次いで、「友人、知人」(37.7%)、「病院などの医療機関、薬局」(12.4%)と続いています。

3 地域活動について

問16 あなたは以下の地域の活動に参加したことがありますか。



計：1,118人

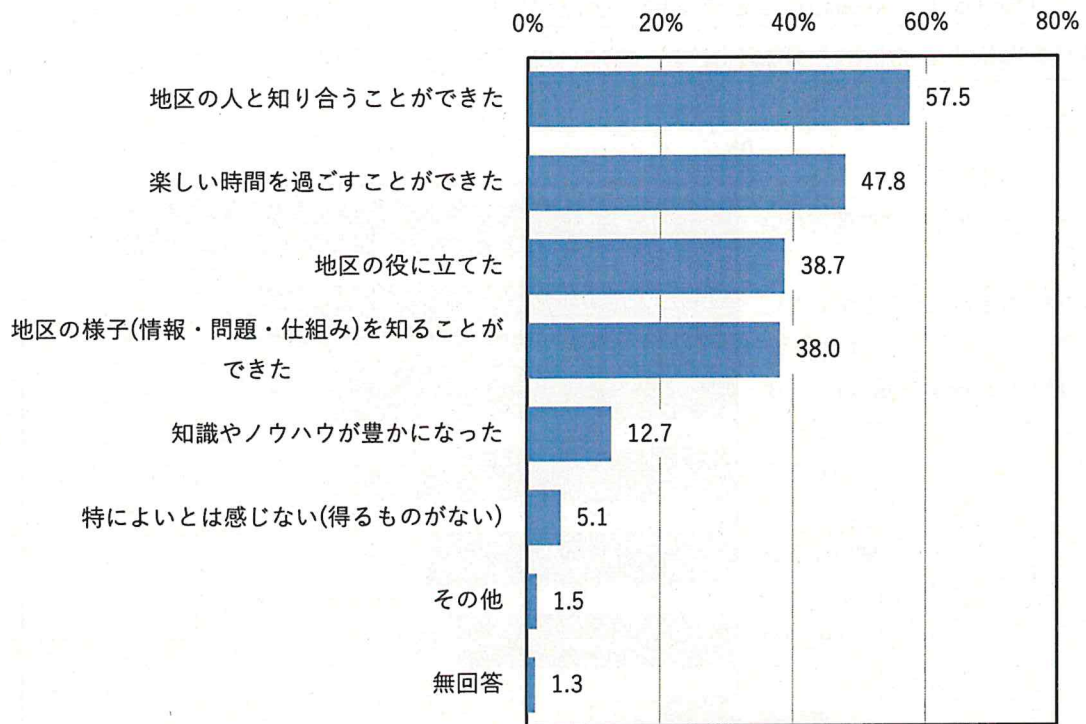
●あなたは以下の地域の活動に参加したことがありますかとたずねたところ、「地区イベント(体育祭、文化祭、まつり)」と回答した人が最も多く、46.8%となっています。次いで、「環境美化活動」(44.3%)、「子ども対象の行事」(21.1%)と続いています。一方、「参加したことはない」と回答した人も29.9%存在します。

問17 (問16で「参加したことはない」以外を選択した方におたずねします) あなたは現在「問16」の活動にどのくらい参加していますか。

		よくしている	ある程度している	あまりしていない	全くしていない	無回答
性別	全体(計:736人)	9.6	44.0	27.6	9.4	9.4
	男性(計:363人)	13.5	42.1	25.1	8.5	10.7
	女性(計:361人)	6.1	46.3	30.2	9.4	8.0
	その他・答えたくない(計:4人)	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0
年齢	29歳以下(計:42人)	0.0	26.2	45.2	26.2	2.4
	30代(計:65人)	7.7	40.0	32.3	9.2	10.8
	40代(計:92人)	2.2	50.0	32.6	7.6	7.6
	50代(計:121人)	5.8	42.1	29.8	14.0	8.3
	60代(計:147人)	12.2	51.7	24.5	4.1	7.5
	70代(計:142人)	16.2	47.9	22.5	2.1	11.3
	80歳以上(計:123人)	13.0	35.8	22.0	15.4	13.8
地区7区分	姫城・中郷地区(計:88人)	10.2	45.5	27.3	5.7	11.4
	妻ヶ丘・小松原地区(計:122人)	9.0	35.2	31.1	16.4	8.2
	五十市・横市地区(計:170人)	7.6	41.2	27.6	13.5	10.0
	祝吉・沖水地区(計:144人)	6.9	41.7	36.8	6.3	8.3
	志和池・庄内・西岳地区(計:63人)	14.3	52.4	15.9	9.5	7.9
	山之口・高城地区(計:61人)	13.1	50.8	21.3	6.6	8.2
	山田・高崎地区(計:85人)	12.9	52.9	21.2	1.2	11.8

●問16で「参加したことはない」以外を選択した方に、あなたは現在「問16」の活動にどのくらい参加していますかとたずねたところ、「よくしている」または「ある程度している」と回答した人の割合は53.6%となっています。一方、「あまりしていない」または「全くしていない」と回答した人の割合は37.0%となっています。

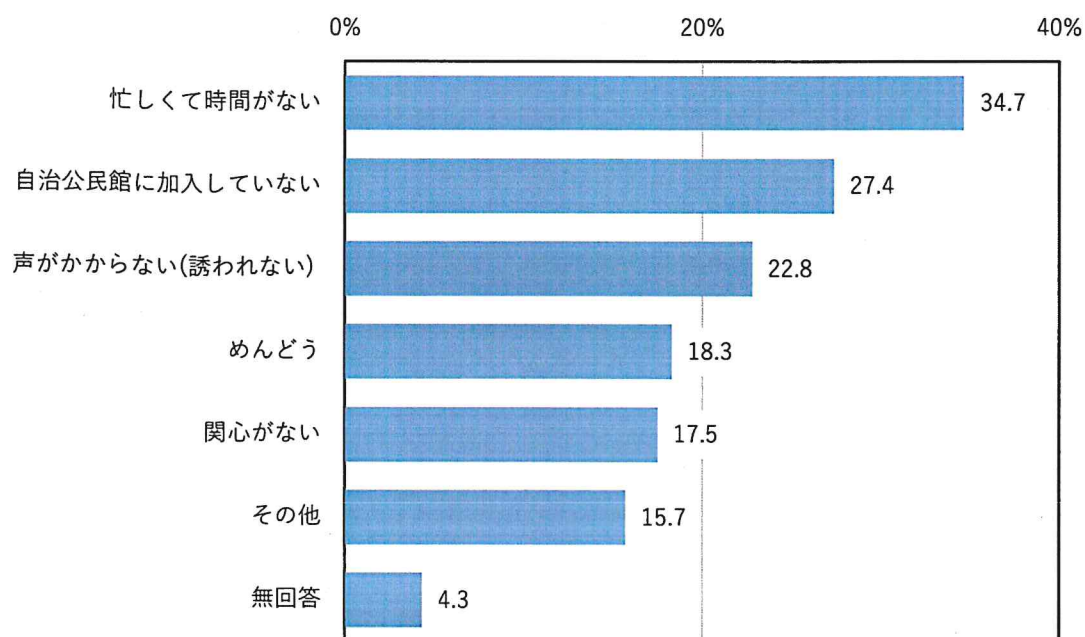
問18 (問17で「よくしている」、「ある程度している」を選択した方におたずねします) 参加して良かったと思うことは何ですか。



計：395人

●問17で「よくしている」、「ある程度している」を選択した方に、参加して良かったと思うことは何ですかとたずねたところ、「地区の人と知り合うことができた」と回答した人が最も多く、57.5%となっています。次いで、「楽しい時間を過ごすことができた」(47.8%)、「地区の役に立てた」(38.7%)と続いています。

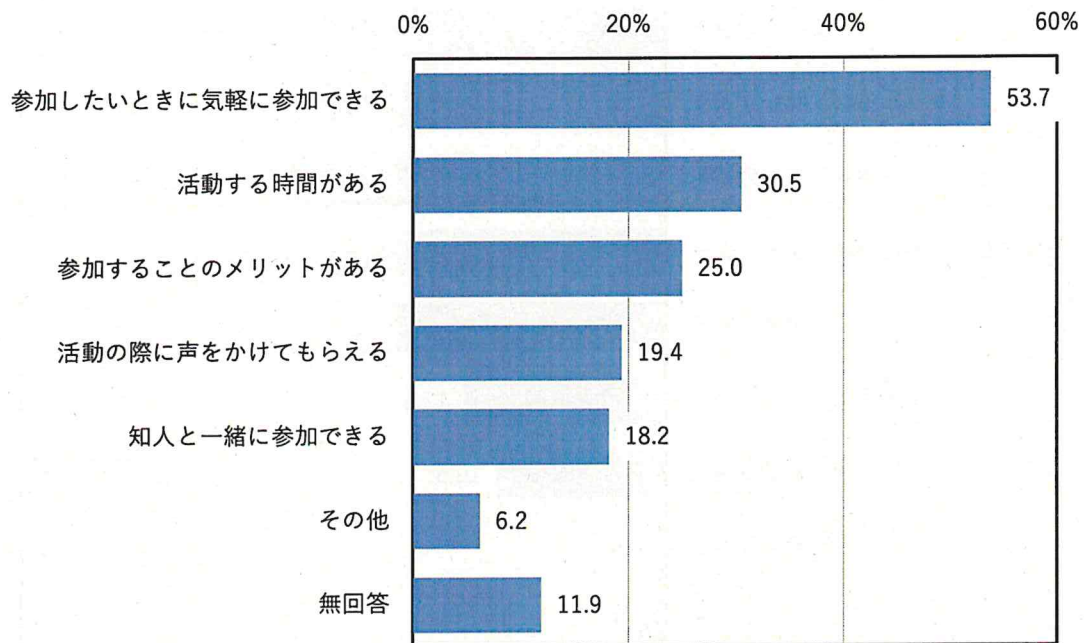
問19 (問16で「参加したことはない」を選択した方、問17で「あまりしていない」、「全くしていない」を選択した方におたずねします) 参加しない(できない)理由は何ですか。



計：606人

- 問16で「参加したことはない」を選択した方、問17で「あまりしていない」、「全くしていない」を選択した方に、参加しない(できない)理由は何ですかとたずねたところ、「忙しくて時間がない」と回答した人が最も多く、34.7%となっています。次いで、「自治公民館に加入していない」(27.4%)、「声がかからない(誘われない)」(22.8%)と続いています。

問20 今後どのような条件があれば、地区内の行事や活動に参加したいと思いますか。(主な番号3つまでに○)

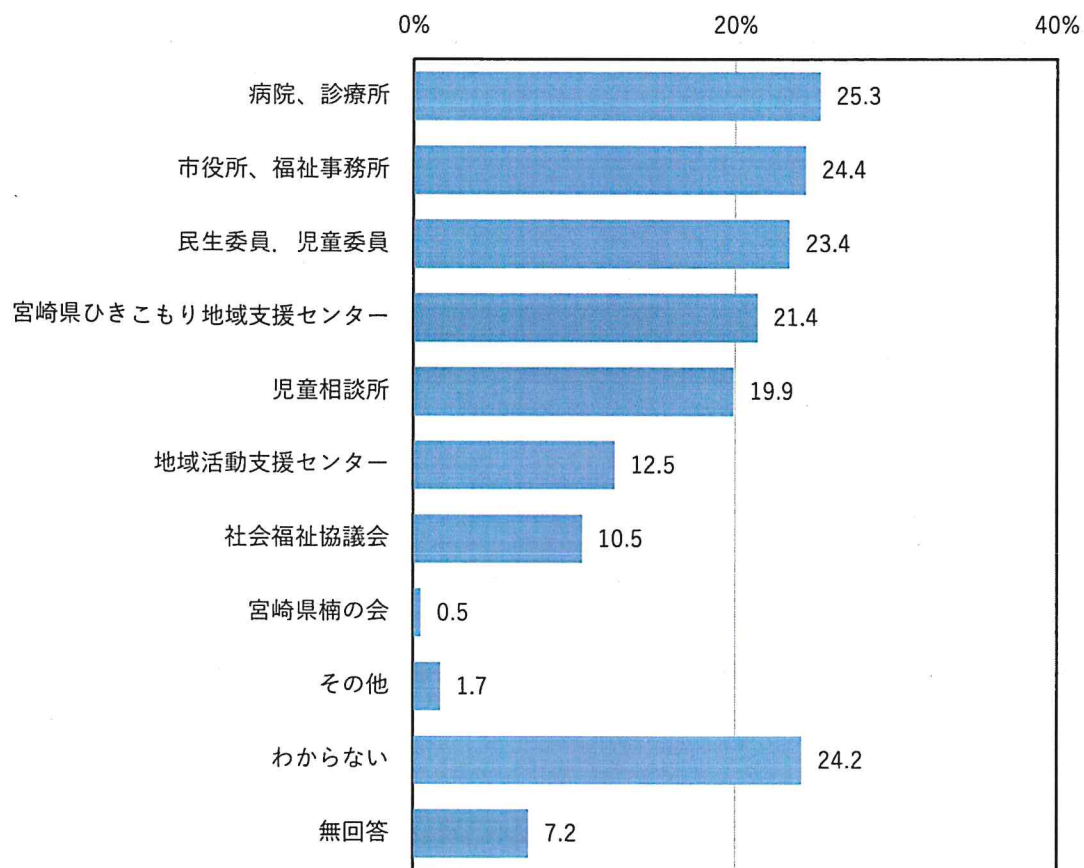


計：1,118人

- 今後どのような条件があれば、地区内の行事や活動に参加したいと思いますかとたずねたところ、「参加したいときに気軽に参加できる」と回答した人が最も多く、53.7%となっています。次いで、「活動する時間がある」(30.5%)、「参加することのメリットがある」(25.0%)と続いています。

4 ひきこもりについて

問2 1 ひきこもりに関する相談先として、思い浮かぶところ（人）はどこ（誰）ですか。



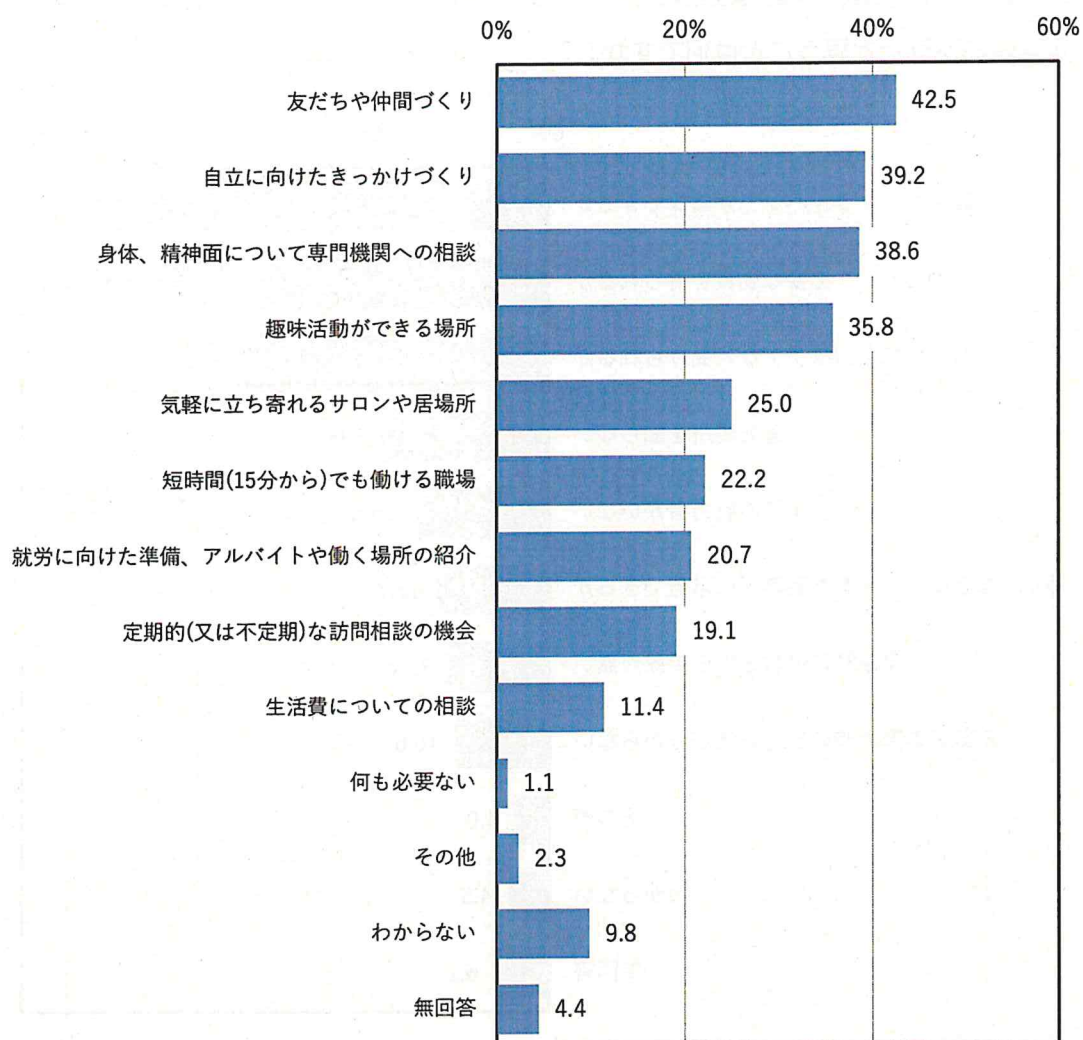
計：1,118人

●ひきこもりに関する相談先として、思い浮かぶところ（人）はどこ（誰）ですかとたずねたところ、

「病院、診療所」と回答した人が最も多く、25.3%となっています。次いで、「市役所、福祉事務所」

(24.4%)、「民生委員・児童委員」(23.4%)と続いています。

問22 あなたが思う、ひきこもりの人に必要と思われることは何ですか。

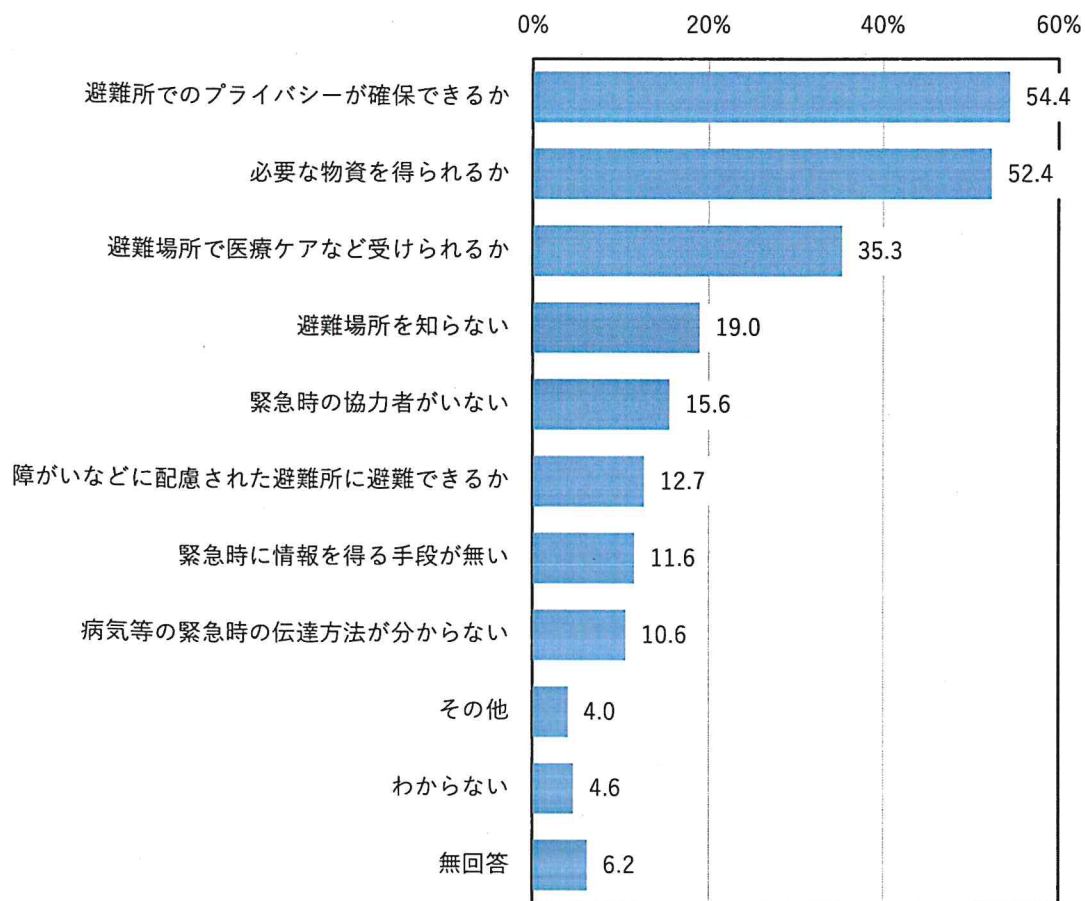


計：1,118人

●あなたが思う、ひきこもりの人に必要と思われることは何ですかとたずねたところ、「友だちや仲間づくり」と回答した人が最も多く、42.5%となっています。次いで、「自立に向けたきっかけづくり」(39.2%)、「身体、精神面について専門機関への相談」(38.6%)と続いています。

5 災害時について

問23 災害時に不安だと思うことは何ですか。



計：1,118人

●災害時に不安だと思うことは何ですかとたずねたところ、「避難所でのプライバシーが確保できるか」

と回答した人が最も多く、54.4%となっています。次いで、「必要な物資を得られるか」(52.4%)、

「避難場所で医療ケアなど受けられるか」(35.3%)と続いています。

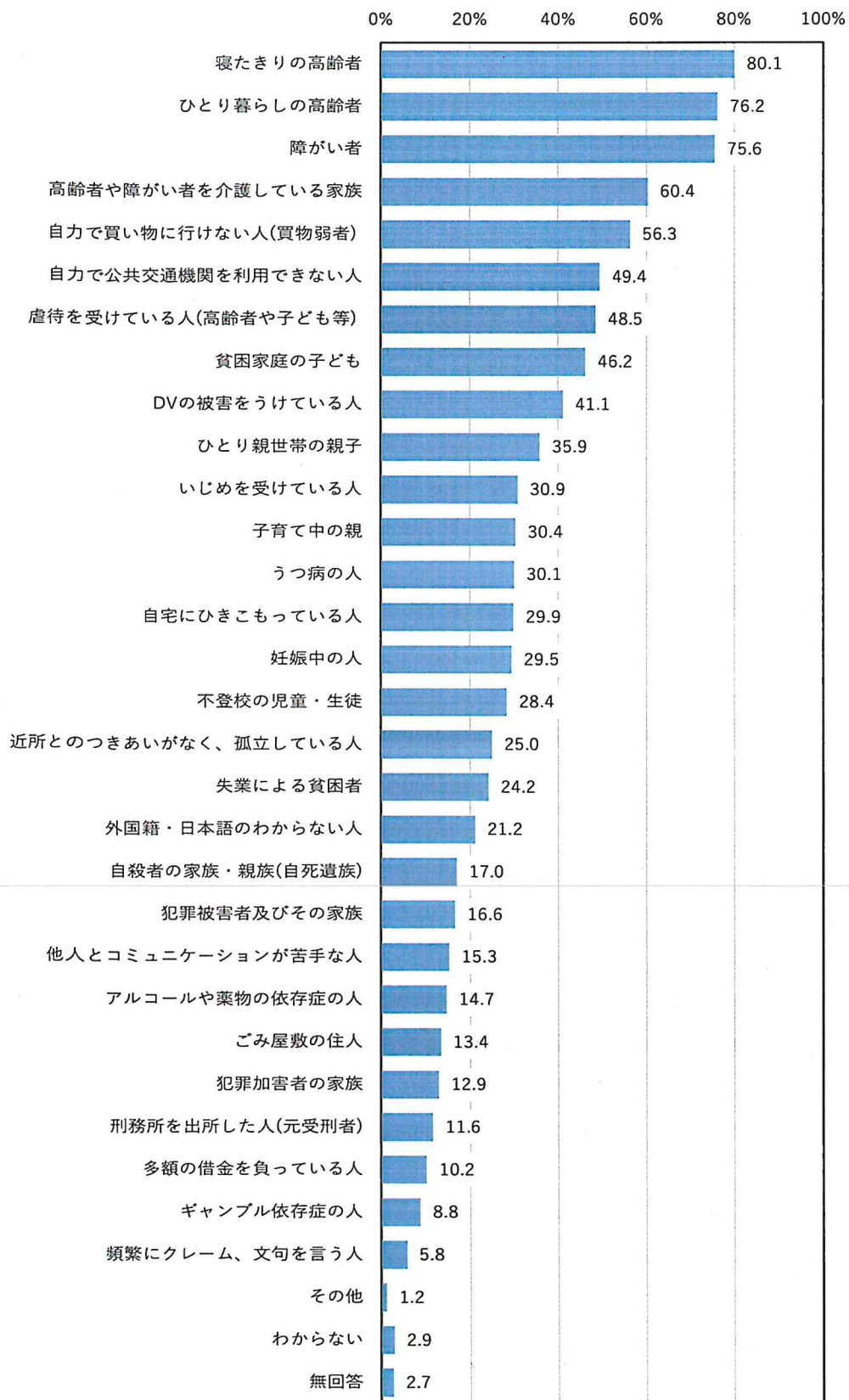
問24 災害から身を守るために地域で最も重要だと思うものは何ですか。

		隣近所の助け合い	避難者の把握を要す	災害に備えた日頃の訓練	自主防災会（）の活動	行政の防災対策の充実	その他	わからない	無回答
性別	全体(計:1118人)	31.8	6.2	12.7	2.2	14.4	0.5	5.6	26.6
	男性(計:517人)	35.4	4.4	10.3	2.5	15.5	0.8	5.0	26.1
	女性(計:586人)	28.7	7.5	14.8	2.0	13.7	0.3	6.3	26.6
	その他・答えたくない(計:5人)	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
年齢	29歳以下(計:95人)	26.3	4.2	11.6	2.1	18.9	1.1	5.3	30.5
	30代(計:122人)	21.3	5.7	16.4	1.6	21.3	0.8	3.3	29.5
	40代(計:131人)	22.9	6.1	15.3	3.1	19.8	0.0	6.1	26.7
	50代(計:174人)	24.1	6.3	16.7	1.1	21.3	1.1	6.9	22.4
	60代(計:198人)	32.3	5.6	14.1	3.5	12.1	0.5	4.5	27.3
	70代(計:213人)	45.1	4.7	8.5	2.3	8.0	0.0	7.0	24.4
	80歳以上(計:180人)	39.4	9.4	8.3	1.7	7.2	0.6	5.6	27.8
地区7区分	姫城・中郷地区(計:140人)	31.4	9.3	15.0	2.1	14.3	0.7	4.3	22.9
	妻ヶ丘・小松原地区(計:199人)	27.6	7.0	10.1	1.5	12.1	0.5	4.0	37.2
	五十市・横市地区(計:258人)	27.1	5.0	17.8	3.1	13.6	0.4	7.0	26.0
	祝吉・沖水地区(計:233人)	30.5	7.7	12.4	1.7	17.6	0.4	6.9	22.7
	志和池・庄内・西岳地区(計:87人)	37.9	5.7	13.8	1.1	14.9	0.0	4.6	21.8
	山之口・高城地区(計:85人)	37.6	4.7	5.9	4.7	20.0	2.4	2.4	22.4
	山田・高崎地区(計:107人)	45.8	0.9	7.5	1.9	8.4	0.0	6.5	29.0

- 災害から身を守るために地域で最も重要だと思うものは何ですかとたずねたところ、「隣近所の助け合い」と回答した人の割合が最も高く、31.8%となっています。次いで、「行政の防災対策の充実」(14.4%)、「災害に備えた日頃の訓練」(12.7%)と続いています。

6 福祉サービスについて

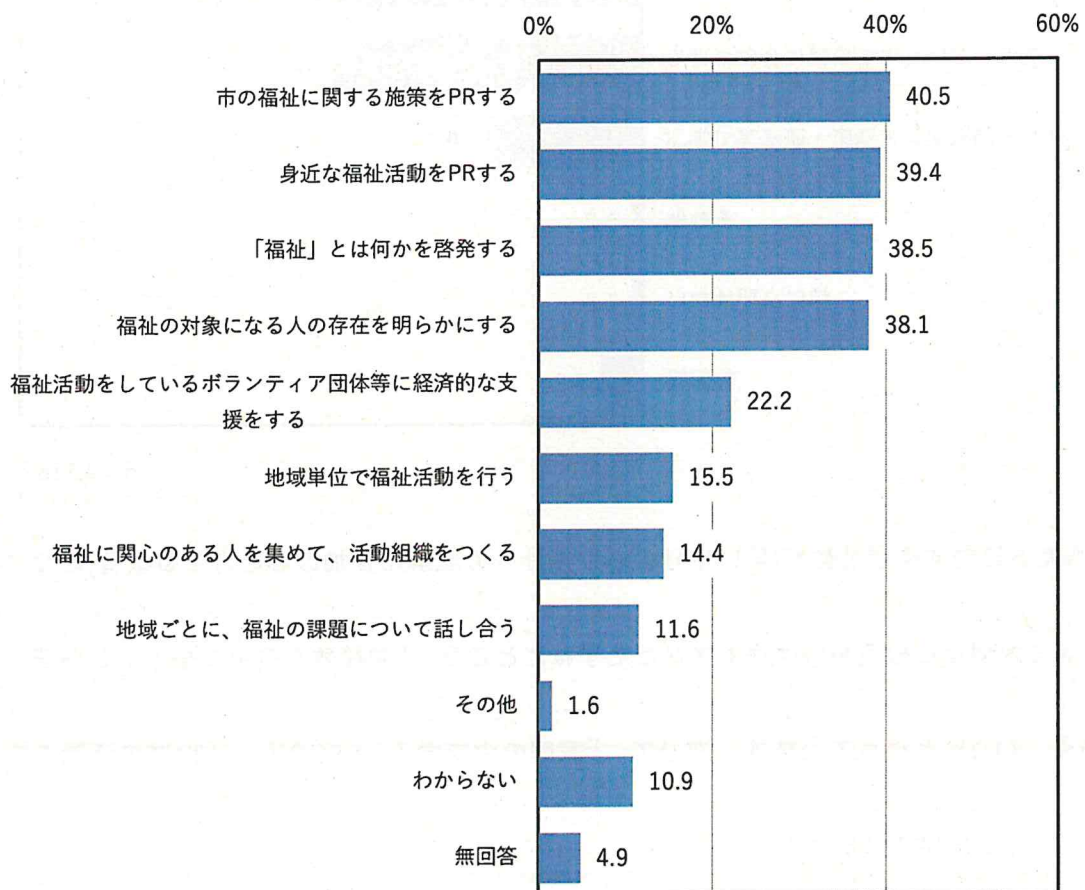
問25 福祉の対象になる人はどのような人だと思いますか。



計：1,118人

●福祉の対象になる人はどのような人だと思いますかとたずねたところ、「寝たきりの高齢者」と回答した人が最も多く、80.1%となっています。次いで、「ひとり暮らしの高齢者」(76.2%)、「障がい者」(75.6%)と続いています。

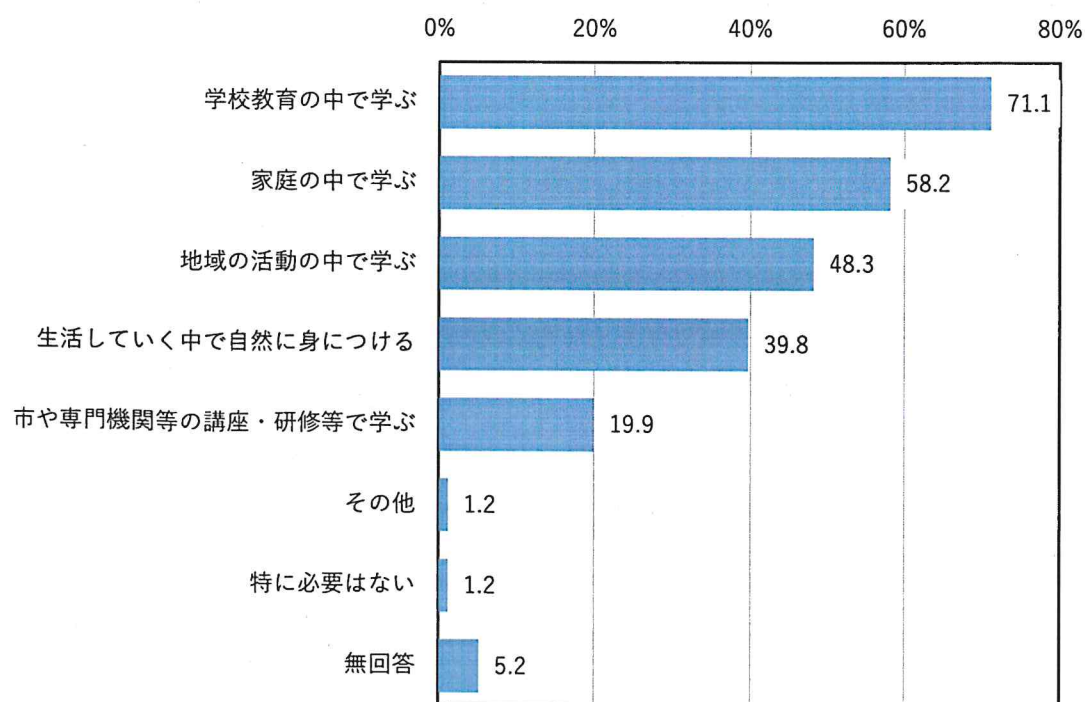
問26 今後多くの市民に「福祉」への関心を高めていただくために、どのような取組が必要だと思いますか。



計：1,118人

●今後多くの市民に「福祉」への関心を高めていただくために、どのような取組が必要だと思いますかとたずねたところ、「市の福祉に関する施策をPRする」と回答した人が最も多く、40.5%となっています。次いで、「身近な福祉活動をPRする」(39.4%)、「福祉」とは何かを啓発する」(38.5%)と続いています。

問27 子どもたちに対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、あなたが最も大切だと思うものは何ですか。



計：1,118人

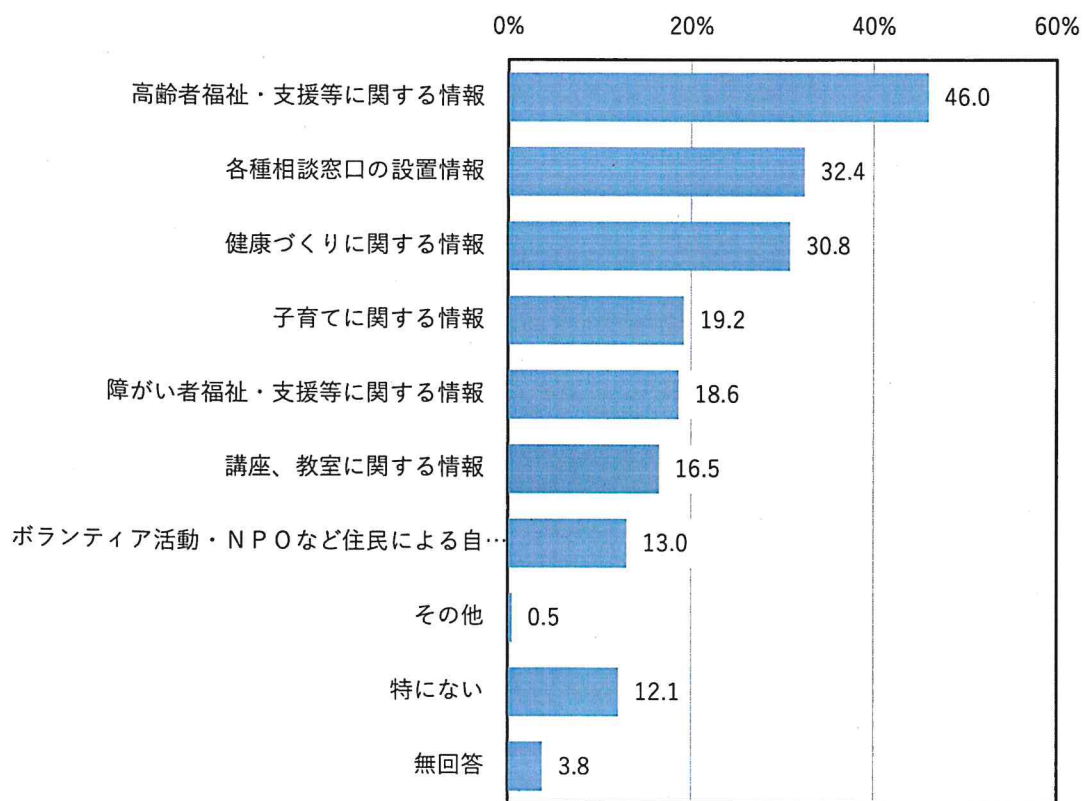
- 子どもたちに対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、あなたが最も大切だと思うものは何ですかとたずねたところ、「学校教育の中で学ぶ」と回答した人が最も多く、71.1%となっています。次いで、「家庭の中で学ぶ」(58.2%)、「地域の活動の中で学ぶ」(48.3%)と続いています。

問28 「福祉」を必要とする人に対して、どのように支えるべきだと思いますか。

		べき親戚で支える	できるだけ家族	国や県、市と支	行政や住民の協	専門機関が	医療や福祉等	その他	わからない	無回答
性別	全体(計:1118人)	12.9	30.2	21.8	11.4	0.7	7.0	16.0		
	男性(計:517人)	17.4	30.2	21.7	9.9	0.6	6.2	14.1		
	女性(計:586人)	9.2	30.5	22.0	12.5	0.9	7.8	17.1		
	その他・答えたくない(計:5人)	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0		
年齢	29歳以下(計:95人)	11.6	33.7	17.9	15.8	0.0	9.5	11.6		
	30代(計:122人)	9.0	37.7	22.1	9.0	1.6	7.4	13.1		
	40代(計:131人)	16.8	30.5	19.8	13.7	1.5	8.4	9.2		
	50代(計:174人)	9.8	35.1	22.4	13.8	0.0	8.0	10.9		
	60代(計:198人)	10.6	27.8	24.2	15.2	0.5	7.1	14.6		
	70代(計:213人)	11.3	27.7	23.9	8.0	0.9	7.0	21.1		
	80歳以上(計:180人)	21.1	24.4	18.9	6.7	0.6	3.3	25.0		
地区7区分	姫城・中郷地区(計:140人)	13.6	36.4	13.6	10.0	1.4	7.9	17.1		
	妻ヶ丘・小松原地区(計:199人)	9.5	33.2	23.1	10.1	0.0	4.5	19.6		
	五十市・横市地区(計:258人)	12.4	31.0	22.5	11.6	0.8	8.1	13.6		
	祝吉・沖水地区(計:233人)	11.2	30.0	23.2	12.9	0.4	8.2	14.2		
	志和池・庄内・西岳地区(計:37人)	14.9	25.3	24.1	11.5	1.1	8.0	14.9		
	山之口・高城地区(計:35人)	22.4	25.9	20.0	10.6	1.2	3.5	16.5		
	山田・高崎地区(計:107人)	14.0	24.3	23.4	12.1	0.9	7.5	17.8		

- 「福祉」を必要とする人に対して、どのように支えるべきだと思いますかとたずねたところ、「国や県、市といった行政が支えるべき」と回答した人の割合が最も高く、30.2%となっています。次いで、「行政や住民の協力の下、地域で支え合うべき」(21.8%)、「できるだけ家族や親戚で支えるべき」(12.9%)と続いています。

問29 あなたはどのような情報を知りたいですか。

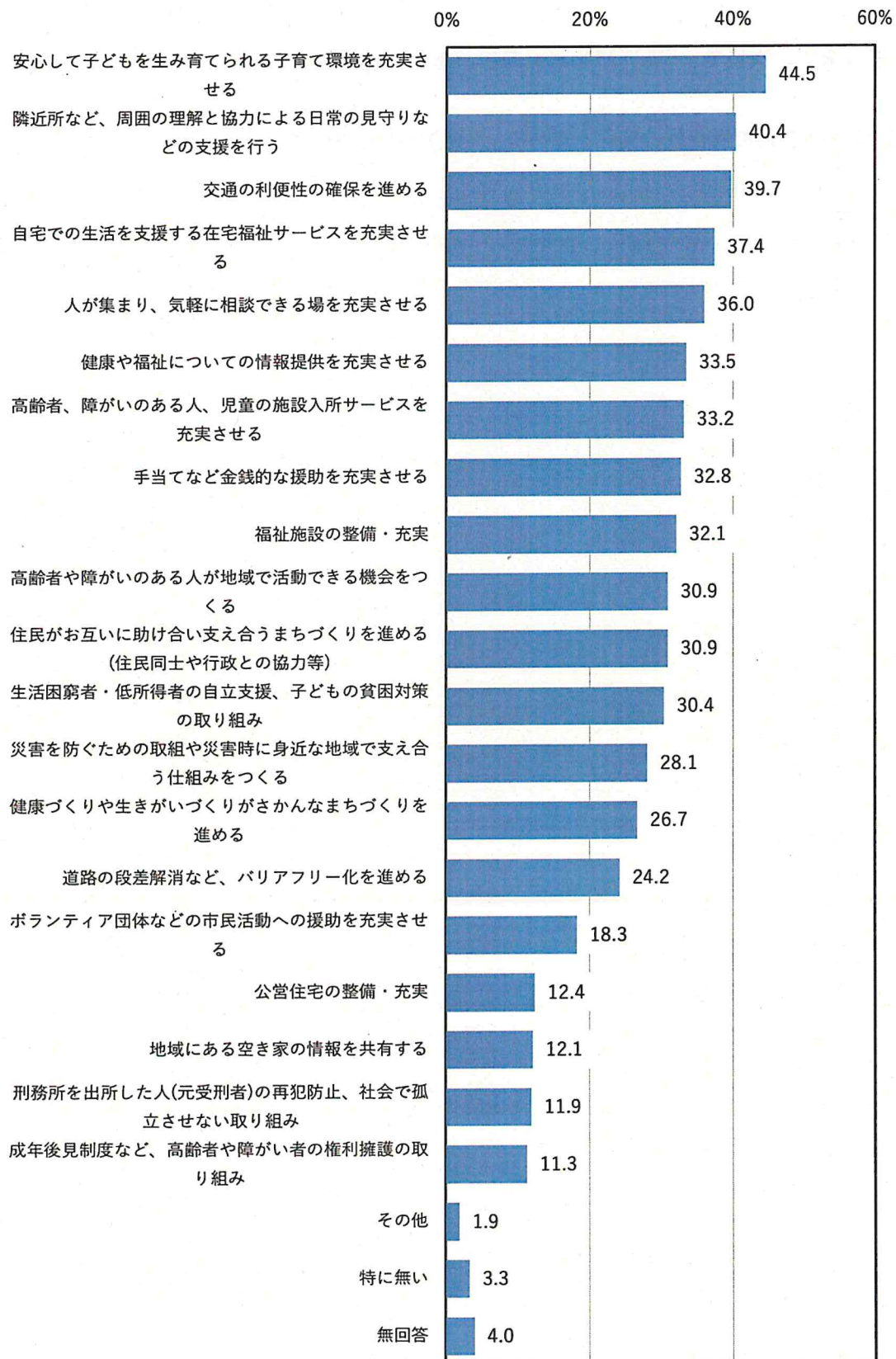


計：1,118人

- あなたはどのような情報を知りたいですかとたずねたところ、「高齢者福祉・支援等に関する情報」と回答した人が最も多く、46.0%となっています。次いで、「各種相談窓口の設置情報」(32.4%)、「健康づくりに関する情報」(30.8%)と続いています。

7 最後に

問30 誰もが安心して暮らせる地域にするために、あなたが重要と考える取組は何ですか。



計：1,118人

●誰もが安心して暮らせる地域にするために、あなたが重要と考える取組は何ですかとたずねたところ、

「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」と回答した人が最も多く、44.5%となっています。次いで、「隣近所など、周囲の理解と協力による日常の見守りなどの支援を行う」

(40.4%)、「交通の利便性の確保を進める」(39.7%)と続いています。

第3章 調査票

調査票

都城市地域福祉に関するアンケート

～ご協力をお願い～

日頃より本市の福祉行政に御理解、御協力いただきありがとうございます。

本市では、令和2年4月1日に「第3期都城市地域福祉計画」を策定し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めてきました。「第3期都城市地域福祉計画」は5カ年計画であり、令和7年3月31日に計画期間が終了することから、新たな計画である「第4期都城市地域福祉計画」の策定に取り組むことになりました。

誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくりを目指すためには、市民の皆様と市、関係機関・団体等が手を携えて様々な課題に対応していくことが必要です。

また、今後の地域福祉やまちづくりを考えるには、地域の生活課題を明らかにすることが重要であることから、皆様のニーズの確認を含めて、アンケート調査を実施させていただきます。

この調査は、18歳以上で、都城市内で居住されている方3,000名を無作為に選ばせていただきました。調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、統計的に処理し、本市の福祉計画やまちづくりに活かし、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の主旨を理解いただき、市民一人ひとりが主役となるこの計画づくりに、ぜひとも皆様の御意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和6年1月

都城市長 池田 宜永

【 記入にあたっての注意 】

- 1 この調査は無記名です。あなたのお名前や住所など記入する必要はございません。
- 2 調査票への回答は、選択肢に○をつけてください。また、「その他」に○をつけた場合は()内に具体的な内容をご記入ください。
- 3 お答えは、必ず宛名のご本人がご記入ください。何らかの事情でご本人の回答が難しい場合は、ご家族または日常ご本人のことをよくわかっている方がお手伝いください。
- 4 ご記入が済みましたら、お手数ですが調査票を3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れ、2月9日(金)までにポストに投函していただきますようお願いいたします。
- 5 このアンケートについて、内容や記入方法等でご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

都城市 福祉部福祉課 地域共生担当

電話 0986-23-0963

地域福祉とは

地域福祉とは、すべての市民が安心して暮らせるよう、地域住民や社会福祉関係者がお互いに協力して、地域社会のもつ福祉課題の解決に取り組む考え方です。

第3期地域福祉計画の基本理念、基本方針

第3期地域福祉計画では「“ふくしのまち”都城」を実現するため取り組みを進めています。

基本理念

自然とふれあい、人を思いやり、共に支え合うまち
安心して健康にずっと暮らしつづけたい
「“ふくしのまち”都城」

基本方針

分野を超えてみんなで支える体制づくり

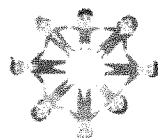
住民の抱える複合化・複雑化した地域生活課題への支援・対応を行うために支援関係機関との連携体制づくりが必要です。

共に支え合うお互い様の地域づくり

住民一人ひとりが地域福祉への理解を深め、役割を持ち地域での助け合いや支え合い活動を推進することが必要です。

一人ひとりを支える基盤づくり

地域の誰もが安心して地域生活を送るためには社会的孤立や社会的排除をすることなく、それぞれが就業や地域活動などの社会参加による役割を持ち、最後まで自分らしく生活できることが必要です。



より暮らしやすいまちづくりのために、
アンケートへのご協力をよろしく申し上げます。

1 はじめに、あなた自身についてお尋ねします。

(令和5年11月1日現在で記入してください)

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男性	2. 女性	3. その他・答えたくない
-------	-------	---------------

問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80歳以上	

問3 あなたの家族構成を教えてください。(1つに○)

1. 単身(ひとり暮らし)世帯	2. 夫婦のみの世帯
3. 親子2世代同居世帯	4. 親子孫3世代同居世帯
5. その他()	

問4 あなたの職業を教えてください。(1つに○)

1. 自営業主・その家族従事者	2. 公務員・教員
3. 民間企業・団体に勤務(役員を含む)	4. パート・アルバイト※
5. 家庭で内職	6. 学生
7. 家事専業	8. 無職(学生・家事専業を除く)
9. その他()	

※パート・アルバイトとは1週間の労働時間が同一事業所の常勤の労働者の労働時間に比べて短い労働者をいいます。

問5 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(1つに○) (下記「地区別町名一覧」をご参照ください)

1. 姫城地区	2. 妻ヶ丘地区	3. 小松原地区
4. 祝吉地区	5. 五十市地区	6. 横市地区
7. 沖水地区	8. 志和池地区	9. 庄内地区
10. 西岳地区	11. 中郷地区	12. 山之口地区
13. 高城地区	14. 山田地区	15. 高崎地区

【地区別町名一覧】

姫城地区	早鈴町、姫城町、甲斐元町、八幡町、松元町、牟田町、蔵原町、上町、中町、西町、下長飯町、都島町
妻ヶ丘地区	上東町、東町、天神町、中原町、上長飯町、一万城町、菖蒲原町、若葉町、妻ヶ丘町、花繰町、広原町
小松原地区	前田町、平江町、小松原町、北原町、大王町、宮丸町、志比田町、栄町
祝吉地区	千町、立野町、早水町、神之山町、年見町、上川東一～四丁目、下川東一～四丁目、郡元町、郡元一～四丁目、祝吉町、祝吉一～三丁目
五十市地区	今町、大岩田町、南鷹尾町、五十町、平塚町、久保原町、鷹尾一～五丁目
横市地区	横市町、南横市町、蓑原町、都原町
沖水地区	吉尾町、金田町、太郎坊町、高木町、都北町
志和池地区	上水流町、下水流町、岩満町、丸谷町、野々美谷町
庄内地区	乙房町、関之尾町、庄内町、菓子野町
西岳地区	美川町、高野町、吉之元町、御池町、夏尾町
中郷地区	梅北町、安久町、豊満町

問6 「問5」でお答えいただいた地区の居住歴を教えてください。(1つに○)

1. 3年未満	2. 3年以上5年未満	3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満	5. 20年以上30年未満	6. 30年以上
7. わからない		

2 地域での暮らしについて

問7 あなたは日頃、ご近所の方とどのようなお付き合いをしていますか。(1つに○)

1. 困っているとき(病気や悩み、事故など)相談したり、助け合ったりする
2. 一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声をかけあったりする
3. たまに立ち話をする
4. 会えばあいさつをする
5. 付き合いはほとんどない
6. その他()

問8 あなたの近所づきあいの考え方は次のどれに近いですか。(1つに○)

1. 相談したり助け合ったりするのは当然である
2. わずらわしいと感じることもあるが、日常生活の中で便利なおことが多いので必要である
3. わずらわしいことが多いのであまりしたくない
4. なくても困らないので必要ない
5. その他()
6. わからない

問9 あなたは、近所の方にお手伝い(手助け)したことがありますか。したことがあるものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------------|----------------|------------|
| 1. 声かけや安否の確認 | 2. 話相手や相談相手 | 3. 買い物の手伝い |
| 4. 家事の手伝いや食事の差し入れ | 5. 病院や施設などへの送迎 | |
| 6. 短時間の子どもの預かり | 7. 徘徊する高齢者の見守り | 8. 災害時の手助け |
| 9. その他() | | 10. 特にない |

問10 あなたやご家族が、日常生活で不自由になったときに地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------------|----------------|------------|
| 1. 声かけや安否の確認 | 2. 話相手や相談相手 | 3. 買い物の手伝い |
| 4. 家事の手伝いや食事の差し入れ | 5. 病院や施設などへの送迎 | |
| 6. 短時間の子どもの預かり | 7. 徘徊する高齢者の見守り | 8. 災害時の手助け |
| 9. その他() | 10. 特にない | 11. わからない |

問11 近所で困り事を抱える人からの助けの求めがあったとき、どう対応したいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|-------------------|
| 1. 積極的に対応したい | 2. できるだけ対応したい | 3. 対応したいができれば避けたい |
| 4. 関わりたくない | 5. その他() | |

問12 あなたが住んでいる地域のことで気になっていると感じている問題は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. 暮らしや福祉について、相談できる人がいないこと |
| 2. 住民同士のまとまりや助け合いが乏しいこと |
| 3. 自治公民館の役員のなり手が少ないこと |
| 4. 介護が必要な高齢者を抱えている世帯のこと |
| 5. 障がい者(児)のこと |
| 6. 母子家庭や父子家庭のこと |
| 7. ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯や支援のこと |
| 8. 子どもの遊び場がないこと |
| 9. 子どものいじめや非行のこと |
| 10. 子どもの通学時等の安全確保のこと |
| 11. 就職をしていない人やひきこもりの人のこと |
| 12. 健康づくりの支援に関すること |
| 13. ごみ処理や駐車、騒音などの生活環境のこと |
| 14. 災害時の助け合いや防災対策のこと |
| 15. 犯罪や事故に巻き込まれること |
| 16. 地域の防犯に関すること |
| 17. 地域にある空き家のこと |
| 18. その他() |
| 19. 特にない |

問13 地域社会の問題に対する、住民同士の協力のためにはどのようなことが必要と考えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 住民同士のつながりを持つように、地域の活動に積極的に参加すること
2. 自治公民館が中心となって住民同士の交流活動を積極的に進めること
3. ボランティア、NPO※、地域の企業・団体が日頃から地域社会の活動に参加すること
4. 地域の人が気軽に集まれる場所をつくること
5. 行政(市)が地域活動の相談窓口や支援体制を充実させること
6. その他()
7. 特にない、わからない

※NPO(営利を目的としない組織(団体))

問14 毎日の暮らしの中でどのような悩みや不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 自分の健康のこと | 2. 家族の健康のこと |
| 3. 老後(介護・支援)のこと | 4. 経済的なこと |
| 5. 育児・子育て | 6. 近所との関係 |
| 7. 家族間の人間関係 | 8. 職場での人間関係 |
| 9. 働くこと(就職・失業) | 10. 感染症に関すること |
| 11. 人権侵害や差別的な扱い | 12. 近所の管理されていない空き家に関すること |
| 13. 郵便物や金銭の管理 | 14. 自分自身の資産のこと(土地・家屋の管理、処分) |
| 15. 買い物や食事の準備のこと | 16. 移動や外出のこと |
| 17. ひとり暮らしで困りごとがある | 18. その他() |
| 19. 特にない →(問16へ) | |

(問14で「19. 特にない」以外を選択した方におたずねします)

(問15へ)

問15 不安や悩みを誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------------|------------------|-------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人、知人 | 3. 職場の同僚、上司 |
| 4. 民生委員・児童委員 | 5. 自治公民館等の役員 | 6. 学校 |
| 7. 保育所・幼稚園 | 8. 市の相談窓口や職員 | 9. 社会福祉協議会 |
| 10. 保健所 | 11. 病院などの医療機関、薬局 | |
| 12. ホームヘルパー・ケアマネージャー | | 13. 介護・福祉施設 |
| 14. 地域包括支援センター | 15. その他() | |
| 16. どこに相談したらよいかわからない | | |

3 地域活動について

問16 あなたは以下の地域の活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

【地域=概ね小学校区内】

1. 地区イベント(体育祭、文化祭、まつり)	2. 環境美化活動	3. 防災訓練
4. 防犯	5. 交通安全	6. 子育て支援
7. 子ども対象の行事	8. 健康づくり	9. 高齢者支援
10. 地区外の人を呼び込む交流活動	11. 文化趣味活動	12. 広報活動
13. その他()		
14. 参加したことはない →(問19へ)		

(問16で「14. 参加したことはない」以外を選択した方におたずねします)

(問17へ)

問17 あなたは現在「問16」の活動にどのくらい参加していますか。(1つに○)

1. よくしている	2. ある程度している	3. あまりしていない	4. 全くしていない
問18へ		問19へ	

(問17で「1. よくしている」、「2. ある程度している」を選択した方におたずねします)

問18 参加して良かったと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 楽しい時間を過ごすことができた	2. 地区の役に立てた
3. 地区の人と知り合うことができた	4. 知識やノウハウが豊かになった
5. 地区の様子(情報・問題・仕組み)を知ることができた	
6. 特によいとは思えない(得るものがない)	
7. その他()	

(問16で「14. 参加したことはない」を選択した方、問17で「3. あまりしていない」、「4. 全くしていない」を選択した方におたずねします)

問19 参加しない(できない)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 忙しくて時間がない	2. めんどう
3. 関心がない	4. 声がかからない(誘われない)
5. 自治公民館に加入していない	6. その他()

問20 今後どのような条件があれば、地区内の行事や活動に参加したいと思いますか。

(主な番号3つまでに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 活動する時間がある | 2. 参加したいときに気軽に参加できる |
| 3. 参加することのメリットがある | 4. 知人と一緒に参加できる |
| 5. 活動の際に声をかけてもらえる | 6. その他() |

4 ひきこもり※について

※ひきこもりとは、様々な要因の結果として社会参加(就学、就労、家庭外での交遊など)を回避し、6ヶ月以上概ね家庭にとどまり続けている状態をいいます。

問21 ひきこもりに関する相談先として、思い浮かぶところ(人)はどこ(誰)ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 病院、診療所 | 2. 民生委員、児童委員 |
| 3. 児童相談所 | 4. 宮崎県ひきこもり地域支援センター |
| 5. 地域活動支援センター | 6. 市役所、福祉事務所 |
| 7. 宮崎県楠の会 | 8. 社会福祉協議会 |
| 9. その他() | 10. わからない |

問22 あなたが思う、ひきこもりの人に必要と思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 友だちや仲間づくり | 2. 趣味活動ができる場所 |
| 3. 身体、精神面について専門機関への相談 | 4. 定期的(又は不定期)な訪問相談の機会 |
| 5. 就労に向けた準備、アルバイトや働く場所の紹介 | 6. 短時間(15分から)でも働ける職場 |
| 7. 生活費についての相談 | 8. 気軽に立ち寄れるサロンや居場所 |
| 9. 自立に向けたきっかけづくり | 10. 何も必要ない |
| 11. その他() | 12. わからない |

5 災害時について

問23 災害時に不安だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 避難場所を知らない | 2. 緊急時の協力者がいない |
| 3. 緊急時に情報を得る手段が無い | 4. 病気等の緊急時の伝達方法が分からない |
| 5. 必要な物資を得られるか | 6. 避難場所で医療ケアなど受けられるか |
| 7. 障がいなどに配慮された避難所に避難できるか | 8. 避難所でのプライバシーが確保できるか |
| 9. その他() | 10. わからない |

問24 災害から身を守るために地域で最も重要だと思うものは何ですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 隣近所の助け合い | 2. 避難に支援を要する者の把握 |
| 3. 災害に備えた日頃の訓練 | 4. 自主防災訓練(自主防災会)の活動 |
| 5. 行政の防災対策の充実 | 6. その他() |
| 7. わからない | |

6 福祉サービスについて

問25 福祉の対象になる人はどのような人だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. ひとり暮らしの高齢者 | 2. 寝たきりの高齢者 |
| 3. 障がい者 | 4. 子育て中の親 |
| 5. ひとり親世帯の親子 | 6. 妊娠中の人 |
| 7. 高齢者や障がい者を介護している家族 | 8. 自力で買い物に行けない人(買物弱者) |
| 9. 自力で公共交通機関を利用できない人 | 10. 近所とのつきあいがなく、孤立している人 |
| 11. 自宅にひきこもっている人 | 12. 虐待を受けている人(高齢者や子ども等) |
| 13. いじめを受けている人 | 14. DVの被害をうけている人 |
| 15. うつ病の人 | 16. 不登校の児童・生徒 |
| 17. 多額の借金を負っている人 | 18. 貧困家庭の子ども |
| 19. 失業による貧困者 | 20. 自殺者の家族・親族(自死遺族) |
| 21. ギャンブル依存症の人 | 22. アルコールや薬物の依存症の人 |
| 23. 他人とコミュニケーションが苦手な人 | 24. 頻繁にクレーム、文句を言う人 |
| 25. ごみ屋敷の住人 | 26. 犯罪加害者の家族 |
| 27. 犯罪被害者及びその家族 | 28. 刑務所を出所した人(元受刑者) |
| 29. 外国籍・日本語のわからない人 | 30. その他() |
| 31. わからない | |

問26 今後多くの市民に「福祉」への関心を高めていただくために、どのような取組が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○) 【地域=概ね小学校区内】

1. 福祉の対象になる人の存在を明らかにする
2. 「福祉」とは何かを啓発する
3. 市の福祉に関する施策をPRする
4. 身近な福祉活動をPRする
5. 福祉活動をしているボランティア団体等に経済的な支援をする
6. 地域ごとに、福祉の課題について話し合う
7. 地域単位で福祉活動を行う
8. 福祉に関心のある人を集めて、活動組織をつくる
9. その他()
10. わからない

問27 子どもたちに対する福祉教育(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育)について、あなたが最も大切だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべてに○) ※子ども(小学生~高校生)

1. 学校教育の中で学ぶ
2. 家庭の中で学ぶ
3. 地域の活動の中で学ぶ
4. 市や専門機関等の講座・研修等で学ぶ
5. 生活していく中で自然に身につける
6. その他()
7. 特に必要はない

問28 「福祉」を必要とする人に対して、どのように支えるべきだと思いますか。(1つに○)

1. できるだけ家族や親戚で支えるべき
2. 国や県、市といった行政が支えるべき
3. 行政や住民の協力の下、地域で支え合うべき
4. 医療や福祉等の専門家や機関が支えるべき
5. その他()
6. わからない

問29 あなたはどのような情報を知りたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康づくりに関する情報
2. 子育てに関する情報
3. 障がい者福祉・支援等に関する情報
4. 高齢者福祉・支援等に関する情報
5. ボランティア活動・NPOなど住民による自主活動の情報
6. 講座、教室に関する情報
7. 各種相談窓口の設置情報
8. その他()
9. 特にない

7 最後に

問30 誰もが安心して暮らせる地域にするために、あなたが重要と考える取組は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 隣近所など、周囲の理解と協力による日常の見守りなどの支援を行う
2. ボランティア団体などの市民活動への援助を充実させる
3. 高齢者や障がいのある人が地域で活動できる機会をつくる
4. 人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる
5. 健康や福祉についての情報提供を充実させる
6. 住民がお互いに助け合い支え合うまちづくりを進める(住民同士や行政との協力等)
7. 健康づくりや生きがいづくりがさかんなまちづくりを進める
8. 自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる
9. 高齢者、障がいのある人、児童の施設入所サービスを充実させる
10. 安心して子どもを生み育てられる子育て環境を充実させる
11. 手当など金銭的な援助を充実させる
12. 福祉施設の整備・充実
13. 公営住宅の整備・充実
14. 交通の利便性の確保を進める
15. 道路の段差解消など、バリアフリー化を進める
16. 災害を防ぐための取組や災害時に身近な地域で支え合う仕組みをつくる
17. 成年後見制度など、高齢者や障がい者の権利擁護の取り組み
18. 生活困窮者・低所得者の自立支援、子どもの貧困対策の取り組み
19. 刑務所を出所した人(元受刑者)の再犯防止、社会で孤立させない取り組み
20. 地域にある空き家の情報を共有する
21. その他()
22. 特に無い

問31 地域福祉やまちづくりに対してのご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。



ご協力ありがとうございました。
調査票は同封の返信用封筒に入れ(切手不要)、
2月9日(金)までに投函をお願いいたします。